第37回全国都市緑化ひろしまフェア

実 施 計 画

ひろしま
はなのわ
2020

2019年5月29日

第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会

目　　次

1 開催概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1-1 基本理念・基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
1-2 開催概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2 メイン会場計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
2-1 会場構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
2-2 会場計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2-3 植物計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
3 協賛会場計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
3-1 基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
3-2 展開方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
3-3 各協賛会場での取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
4 スポットイベント会場計画 ・・・・・・・・・・・・・・・ 39
4-1 基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
4-2 展開方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
5 展示・出展計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
5-1 基本的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
5-2 展示計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
5-3 出展計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
5-4 コンテスト計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
6 行催事計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
6-1 基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
6-2 公式行事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
6-3 主催者催事（プレイベント） ・・・・・・・・・・・・ 63
6-4 主催者催事（シンポジウム） ・・・・・・・・・・・・ 63
6-5 集客イベント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
6-6 交流イベント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
6-7 連携イベント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
7 協働推進計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
7-1 基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
7-2 協働推進実施項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
7-3 スポットイベントのブラッシュアップ ・・・・・・・ 70
8 会場運営計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
8-1 会場運営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
8-2 交通輸送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
9 観客誘致・広報宣伝計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
9-1 観客誘致 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
9-2 広報宣伝 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
9-3 参加協賛 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99

１　開催概要等

1-1　基本理念・基本方針

（1）基本理念

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界中から広島へ多くの人々が訪れる2020年、広島ならではの花や緑等の地域資源を活用して、県内全域で回遊と交流を生み出し、花や緑の大切さと平和の尊さを世界中の人々と分かち合い、より一層の豊かな地域づくりと世界恒久平和の実現につなげていくため、県内一円で全国都市緑化ひろしまフェアを開催します。

（2）基本方針

広島を花と緑でつないでいくフェア

■　花や緑等の地域資源の活用

花や緑、伝統文化等の地域資源を最大限活用することで、将来に向けた利用促進を目指します。

■　花や緑等を通じた回遊性の向上

情報通信技術や公共交通サービスと連携することで、花や緑等を通じて県内一円を結び、情報の共有や新たな人の流れを生み出すことを目指します。

広島の力を結集してみんなでつくりあげるフェア

■　地域づくりの担い手の育成

県民団体、農業団体、民間企業、学校等、様々な主体が活動可能な展開を図ることで、花や緑に造詣の深い人材を育成するとともに、活動団体等の活性化や新たな地域デビューを促進し、地域を誇りに思い活動できる人の増加を目指します。

平和と広島の魅力を世界に発信するフェア

■　国内外への魅力の発信

緑化フェアの開催を契機に、国内外に向けて、県内各地の地域資源や特産品等の魅力を発信することで、更なる地方創生の推進を目指します。

■　平和を象徴する花と緑の祭典

被爆75年となる2020年に、世界中の人々が花や緑等を通して平和の尊さを五感で体感し、発信できる緑化フェアを目指します。

1-2　開催概要

（1）名称・愛称

名称：第37回全国都市緑化ひろしまフェア

愛称：ひろしま はなのわ 2020

（2）開催テーマ

全国都市緑化ひろしまフェア　開催テーマ

ひろしま はなのわ ２０２０

♬「花笑（はなえみ）」ひろしまから花と笑顔と平和の　わ ♬

全国都市緑化フェア　統一開催テーマ

『緑ゆたかなまちづくり』

～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～

（3）主催者等

主催者：広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、公益財団法人都市緑化機構

共催者：国土交通省中国地方整備局

提　唱：国土交通省

実行組織：第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会

（4）開催期間

2020年3月19日（木）～11月23日（月・祝）　250日間

（5）会場

会場種別	会場・場所	開催期間
メイン会場	中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺 （広島市中区基町）	3月19日（木）～5月24日（日）67日間 ※5月25日（月）～11月23日（月・祝）は、他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを開催
協賛会場	国営備北丘陵公園 （庄原市三日市町）	3月19日（木）～11月23日（月･祝） 250日間
	県立せら県民公園 （世羅町黒渕）	
	県立びんご運動公園 （尾道市栗原町）	
	県立みよし公園 （三次市四拾貫町）	
スポットイベント会場	県内23市町の スポットイベント会場	2020年に開催する 各スポットイベントの実施期間

（6）目標来場者数

メイン会場：160 万人

協賛会場・スポットイベント会場（対前年来場者増加数）：80 万人

（7）入場方式

メイン会場：無料

ただし、催事については、有料のものを検討

協賛会場・スポットイベント会場：現行と同様

（8）事業費

概ね12億円（協賛会場・スポットイベント会場費除く。）

（9）ロゴマーク

ひろしま
はなのわ
2020

（10）応援キャラクター（はなのわ応援隊）

図　「はなのわ応援隊」
主催 24 自治体にゆかりのあるキャラクターで結成

２　メイン会場計画

2-1　会場構成

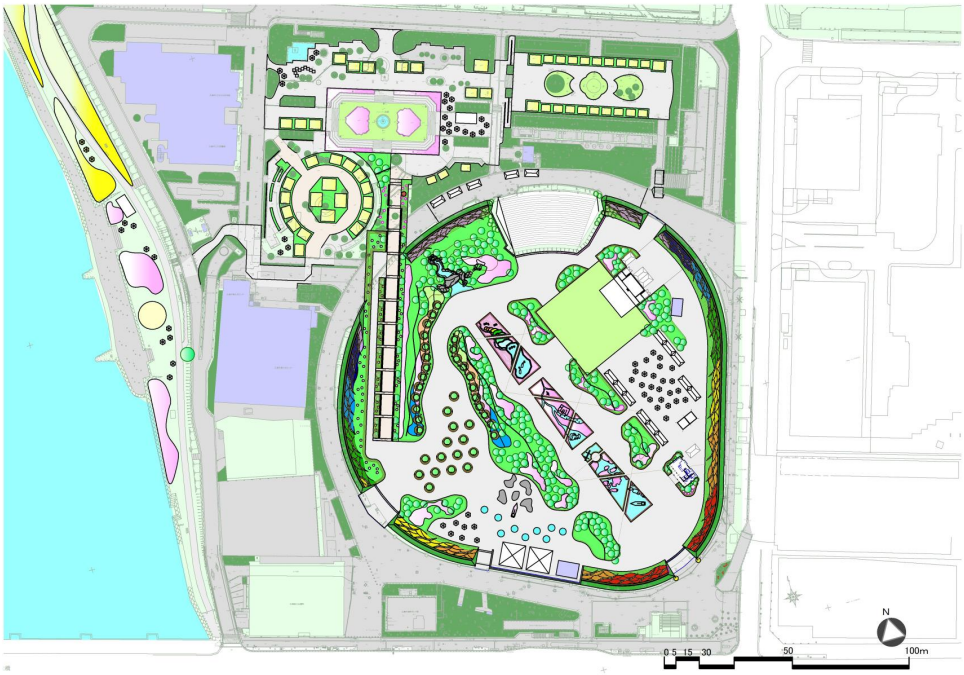
（1）展開方針

- ひろしまフェアの象徴として、広島の風土の豊かさや花と緑あふれる暮らしの豊かさを五感で感じることができる会場づくりを行います。
- 多くの県民が参加することにより、県内 23 市町の魅力が出会い交流する会場とします。
- 被爆及び戦災 75 年を迎え、花と緑豊かに復興した広島の姿と未来に向けた平和のメッセージを世界に発信する会場とします。
- 国内外の様々な人々が楽しめるように、会場サインの多言語化やバリアフリーなど、ユニバーサルデザインに配慮した会場とします。
- 多くの人々に花と緑の心地よさを感じてもらうとともに、県内 23 市町のスポットイベント会場や地域の魅力を発信し、県内全域への回遊を促進します。
- 春から秋にかけて県内一円で開催するひろしまフェアを、植物の芽吹きから実りまでの流れで表現します。
  ひろしまフェアは、メイン会場から協賛会場とスポットイベント会場へ植物が生長するように広がっていき、各会場で花を咲かせ、大きく美味しい実をつけます。
  メイン会場は、植物の芽吹きから展葉までの生長初期に集中的な展開を図り、その後は幹として各会場をつなぎ、養分（情報）を供給します。
- 春（3 月 19 日～5 月 24 日）には、ひろしまフェアを象徴する景観演出や各種展示・出展、行催事を集中して展開します。
- 夏から秋（5 月 25 日～11 月 23 日）には、情報発信拠点である「ウェルカムゾーン」と旧広島市民球場跡地を囲う「はなのわ」を残し、その中で、民間企画イベントを「連携イベント」として開催します。

表　植物の流れを取り入れたメイン会場の展開方針

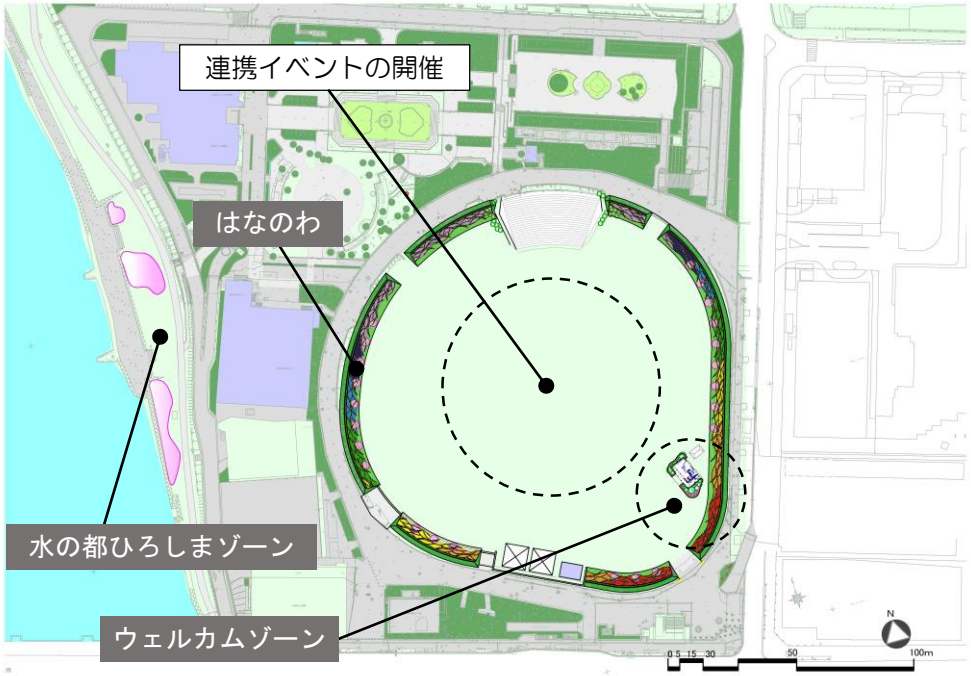
開催期間	植物の流れ	展開方針	展開内容
3 月 19 日 ～ 5 月 24 日	芽吹き ～ 展葉	祭りの始まり ～ 成長と広がり	開会式、全国都市緑化祭 実行委員会展示花壇 企業団体等出展花壇 はなのわ・ウェルカムゾーン 集客・交流イベント等
5 月 25 日 ～ 11 月 23 日	開花 ～ 実り	発展と継承 ～ フィナーレ	はなのわ・ウェルカムゾーン 民間企画イベントとの連携（連携イベント） 閉会式

メイン会場（3 月 19 日～5 月 24 日）



ひろしまフェアを象徴する景観演出や各種展示・出展、行催事を展開するとともに、スポットイベント会場や地域の魅力を情報発信

メイン会場（5 月 25 日～11 月 23 日）



はなのわとウェルカムゾーン・水の都ひろしまゾーンの一部を残し、旧広島市民球場跡地で行われている民間企画イベントを連携イベントとして展開するとともに、スポットイベント会場や地域の魅力を情報発信

（2）ゾーニング

- ひろしまフェアのメイン会場として、ひろしまフェアの象徴となる求心力ある景観演出を行うゾーン（ひろしま風景ゾーン）、フェアの賑わいの中心となり広島県及び 23 市町の魅力を発信し交流するゾーン（ウェルカムゾーン、イベント企画ゾーン）、被爆及び戦災 75 年を迎え花と緑豊かに復興した広島の姿を発信するゾーン（希望と思い出ゾーン）など、広島ならではの花や緑の豊かさを五感で体感できる多彩なゾーンを展開します。
- 明快な主動線で各ゾーンを結び、全てのコンテンツを楽しみやすい構成とします。

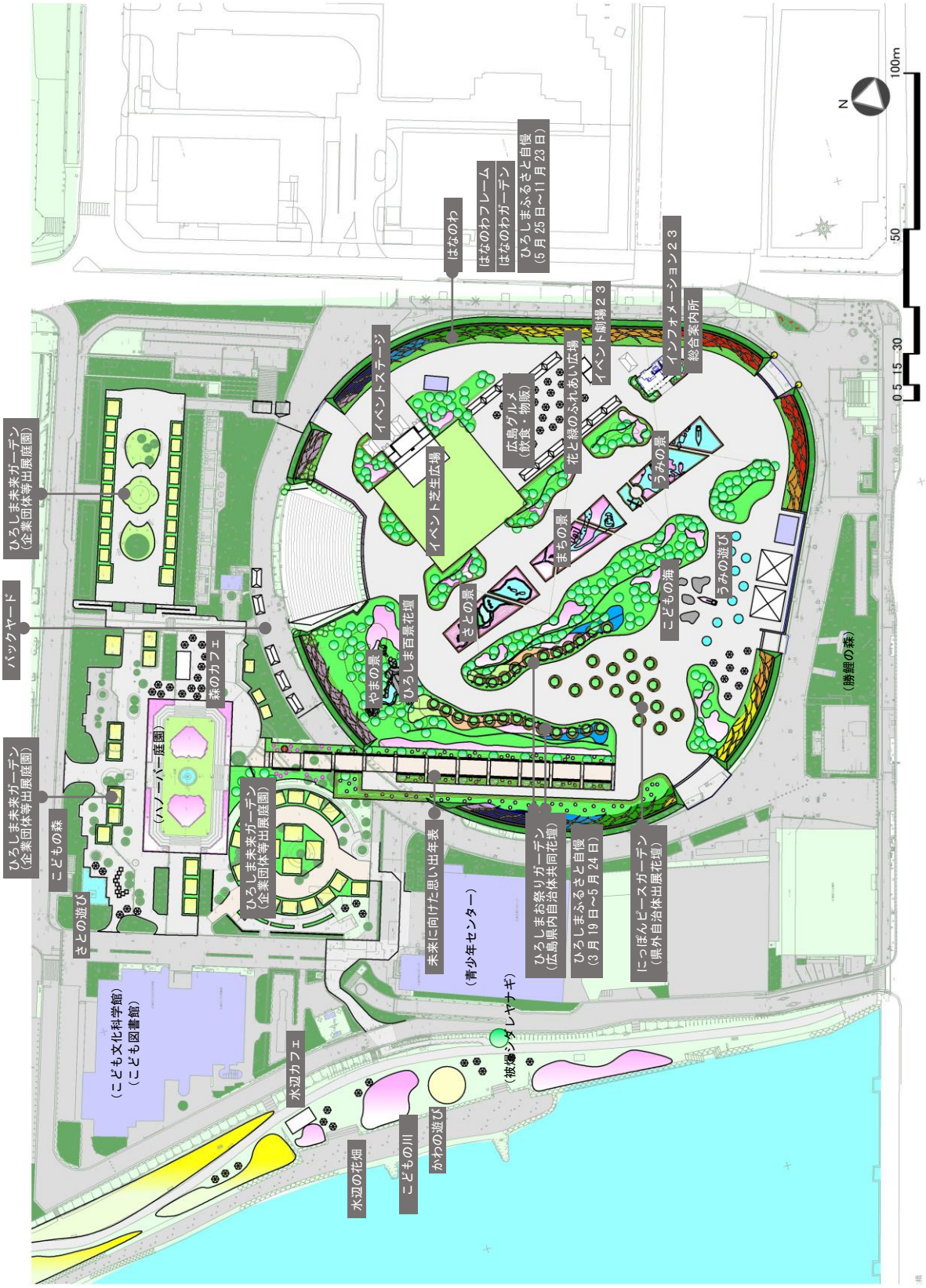
図　メイン会場ゾーニング図

表　各ゾーンの展開方針等

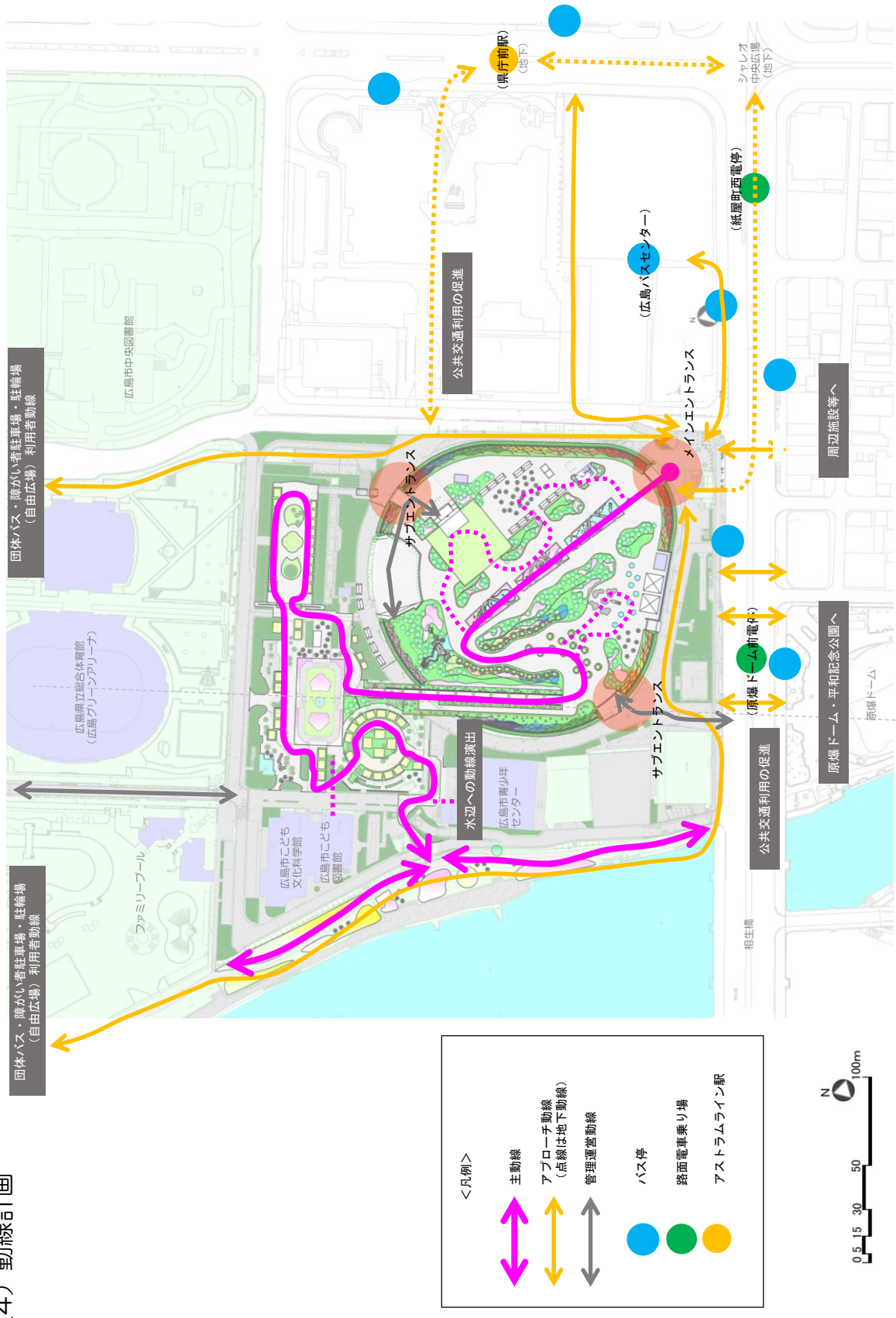
ゾーン等	展開方針	導入施設	整備イメージ
はなのわ	ひろしまフェアの象徴として、会場を包み、県民をつなぐ、県民参加の花と緑のわ	●はなのわフレーム ●はなのわガーデン ●ひろしまふるさと自慢	広島に勇気と活気をもたらした旧広島市民球場の歴史を活かし、花の土手でメイン会場を包み込むとともに、立体的な演出で花があふれる景を演出
ひろしま風景ゾーン	ひろしまフェアの象徴として、広島の海から山までの多彩な風景を花と緑により体感するゾーン	●ひろしま百景花壇 ●ひろしまお祭りガーデン（広島県内自治体共同花壇） ●ひろしまふるさと自慢	ランドアート※1、地域の物産、モザイカルチャー※2などを取り入れ、ダイナミックな景観構成と、県内 23 市町の魅力が素直に理解できるわかりやすい景観構成
ウェルカムゾーン	ひろしまフェアを知り、広島の 23 市町の魅力に五感で触れ合い、交流するゾーン	●総合案内所 ●インフォメーション 23 ●イベント劇場 23	フェアの玄関口として、わかりやすい情報発信、地域の魅力を伝える情報発信ができるように、シンプルで明快な施設構成
イベント企画ゾーン	音楽を中心とした多彩なイベントや広島グルメ、各種体験教室・展示会などにより、広島の魅力やにぎわいを楽しみ交流するゾーン	●イベントステージ ●イベント芝生広場 ●広島グルメ ●花と緑のふれあい広場	ひろしまならではのグルメや物産、みんなでつくり上げるステージイベント、花と緑の体験教室など、多様な楽しみを享受できる空間構成
ひろしま海ゾーン	広島の海をテーマとした遊びと憩いのゾーン	●こどもの海（うみの遊び）	散策の途中でゆったりと休んだり、遊べる憩いの空間構成
希望と思い出ゾーン	広島の平和と復興のメッセージを世界に発信するゾーン	●にっぽんピースガーデン（県外自治体出展花壇） ●未来に向けた思い出年表	原爆ドームと平和の鐘を象徴と捉え、その軸線や存在を意識できる景観構成
森のガーデンゾーン	花や緑のある豊かなライフスタイルを五感で満喫するゾーン	●ひろしま未来ガーデン（企業団体等出展庭園） ●森のカフェ ●こどもの森（さとの遊び） ●ハノーバー庭園（既存）	森に囲まれた空間で、歩くたびに新しい発見がある、驚きと楽しみを感じる景観構成
水の都ひろしまゾーン	広島の川のある風景や豊かなライフスタイルを五感で満喫するゾーン	●水辺の花畑 ●水辺カフェ ●こどもの川（かわの遊び） ●被爆シダレヤナギ（既存）	ひろしまの川沿いの空間の雄大さ、豊かさを感じられる景観構成

※1 ランドアート　　：土、岩、樹木などの自然の素材を用いて大地に直接構築される造詣作品
※2 モザイカルチャー：人、動物、風景などの像（金属フレーム）の表層に花を植えこんだ色彩豊かな立体造形。「モザイク」と「カルチャー」を組み合わせた造語。

（3）会場全体計画


ひろしま未来ガーデン
（企業団体等出展庭園）
バックヤード
ひろしま未来ガーデン
（企業団体等出展庭園）
こどもの森
さとの遊び
（こども文化科学館）
（こども図書館）
（ハノーバー庭園）
森のカフェ
ひろしま未来ガーデン
（企業団体等出展庭園）
水辺カフェ
水辺の花畑
こどもの川
かわの遊び
やまの景
ひろしま百景花壇
さとの景
未来に向けた思い出年表
（青少年センター）
（被爆シダレヤナギ）
イベントステージ
イベント芝生広場
はなのわ
はなのわフレーム
はなのわガーデン
ひろしまふるさと自慢
（5月25日～11月23日）
広島グルメ
（飲食・物販）
花と緑のふれあい広場
まちの景
うみの景
イベント劇場２３
インフォメーション２３
総合案内所
こどもの海
うみの遊び
ひろしまお祭りガーデン
（広島県内自治体共同花壇）
ひろしまふるさと自慢
（3月19日～5月24日）
にっぽんピースガーデン
（県外自治体出展花壇）
（勝鯉の森）
N
100m
50
0 5 15 30

（4）動線計画


団体バス・障がい者駐車場・駐輪場
（自由広場）利用者動線
団体バス・障がい者駐車場・駐輪場
（自由広場）利用者動線
公共交通利用の促進
（県庁前駅）
（地下）
シャレオ
中央広場
（地下）
（広島バスセンター）
（紙屋町西電停）
メインエントランス
サブエントランス
サブエントランス
周辺施設等へ
水辺への動線演出
公共交通利用の促進
（原爆ドーム前電停）
原爆ドーム・平和記念公園へ
原爆ドーム
広島市中央図書館
広島県立総合体育館
（広島グリーンアリーナ）
ファミリープール
広島市こども
文化科学館
広島市こども
図書館
広島市青少年
センター
相生橋
＜凡例＞
主動線
アプローチ動線
（点線は地下動線）
管理運営動線
バス停
路面電車乗り場
アストラムライン駅
N
100m
0 5 15 30 50

2-2　会場計画

（1）はなのわ

- 旧広島市民球場の歴史を活かし、花の土手でメイン会場を柔らかく華やかに包み込むとともに、立体的な演出で花があふれる景を演出します。
- 「はなのわフレーム」「はなのわガーデン」「ひろしまふるさと自慢」で構成します。

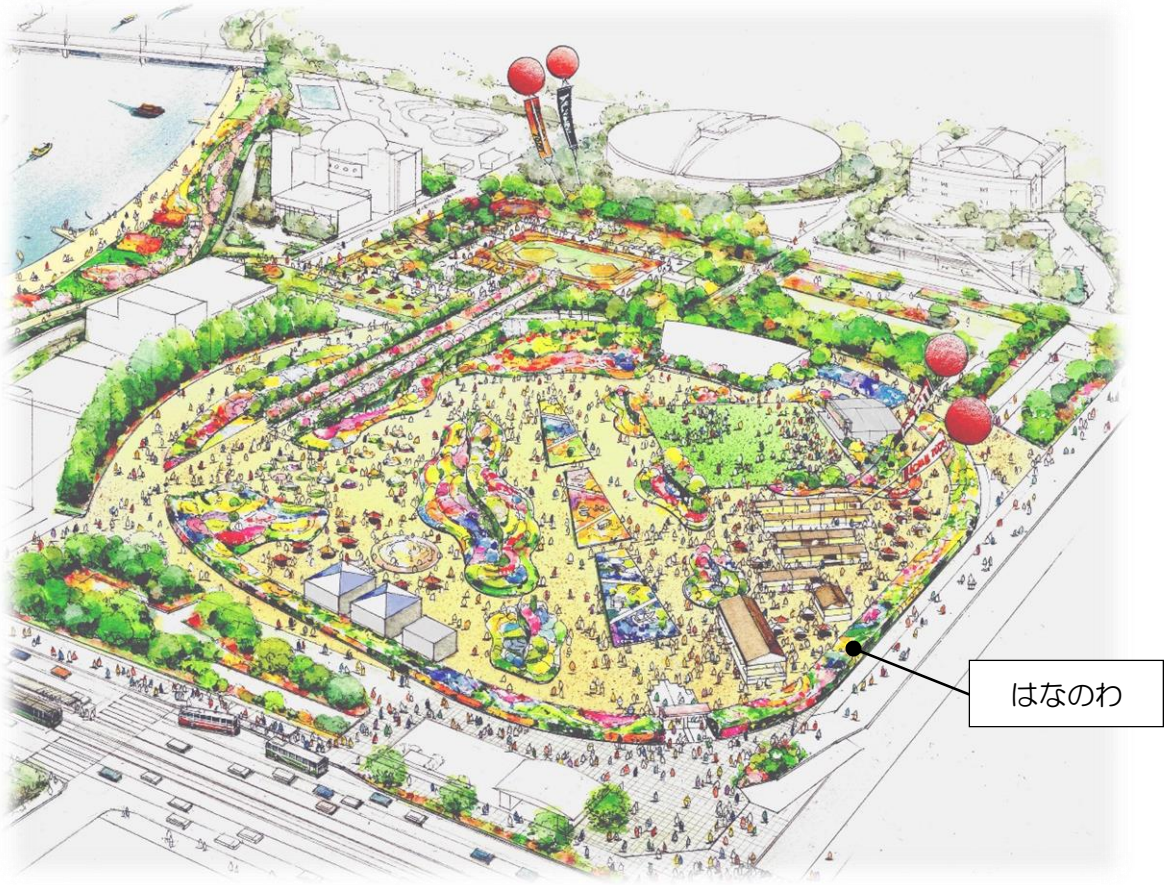


図　はなのわイメージパース

名称	整備主体	内容
はなのわフレーム	実行委員会	花と緑で構成されるメイン会場のフレームとなる花壇
はなのわガーデン	県民	県民（団体、学校、個人、企業など）参加による花壇
ひろしまふるさと自慢	実行委員会	広島県及び県内23市町の観光情報や花と緑の見所、魅力的なお祭り等を紹介するパネル

● はなのわフレーム

・旧広島市民球場跡地の歴史を活かし、花の土手でメイン会場周囲を囲むとともに、立体的な演出で、花があふれる景を演出します。

● はなのわガーデン

・「はなのわフレーム」として、ベースとなる花修景をつくり、その中に参加型の花壇「はなのわガーデン」を設置し、県民全体（団体、学校、個人、企業など）でつくりあげます。

● ひろしまふるさと自慢

・メイン会場の集中展開後（5 月 25 日～11 月 23 日）、「ひろしまふるさと自慢」として、広島県及び県内 23 市町の観光情報や花と緑の見所等を紹介するパネルを「ひろしまお祭りガーデン」（メイン会場集中展開時のメイン動線沿い）から移設します。
・開催期間中、展示し続けることで、ひろしまフェアの開催等を発信し続けます。

写真　はなのわフレーム・はなのわガーデンのイメージ

（2）ひろしま風景ゾーン

- ひろしまの風土、文化を世界中の人々に発信します。
- ダイナミックな景観構成で、ひろしまの「うみ」「まち」「さと」「やま」の魅力を驚きと感動の風景で発信します。
- 賑わいある景観構成で、ひろしまの祭り文化の魅力を花に包まれた中に展開します。
- 「ひろしま百景花壇」「ひろしまお祭りガーデン」で構成します。

名称	整備主体	内容
ひろしま百景花壇 （うみの景、まちの景、さとの景、やまの景）	実行委員会	ランドアート・モザイカルチャーを織り交ぜた花壇
ひろしまお祭りガーデン （広島県内自治体共同花壇）	実行委員会	広島県及び県内23市町で制作する花壇

● ひろしま百景花壇

- 広島県内にあるユネスコの世界遺産や無形文化遺産、日本遺産や国名勝などの世界的あるいは全国的な資源を始めとした広島の海から山までの多彩な風景を構成要素に、ランドアート※1とモザイカルチャー※2を織り交ぜながら、うみの景、まちの景、さとの景及びやまの景を、一連の景観として描き出します。
- メインエントランスのウェルカムビューとして、ひろしまフェアを印象付けます。
- ひろしまは、海から山までの自然があり、その環境が水の流れにより結ばれています。うみの景、まちの景、さとの景、やまの景を水の流れでつなぎます。
- 躍動感のある、人や動物をモザイカルチャーとして導入します。

図　ひろしま百景花壇イメージパース

※1 ランドアート　　：土、岩、樹木などの自然の素材を用いて大地に直接構築される造詣作品
※2 モザイカルチャー：人、動物、風景などの像（金属フレーム）の表層に花を植えこんだ色彩豊かな立体造形。「モザイク」と「カルチャー」を組み合わせた造語。

＜ひろしま百景花壇の主な構成要素＞

表　広島県内の世界遺産・日本遺産

	指定箇所	内容	うみ	まち	さと	やま
ユネスコ世界遺産	嚴島神社	海上にそびえたつ朱塗りの大鳥居が印象的な厳島神社は、前景には瀬戸内海、背景には神の山とされる彌山を配し、見事な自然と文化の調和を表現している。	●			
	原爆ドーム	1945 年に人類史上初めて使用された核兵器の傷あとを伝える建造物		●		
ユネスコ無形文化遺産	壬生の花田植	北広島町の伝統行事。毎年 6 月の第一日曜日に行われる行事で可愛い早乙女姿の女性たちが豊作を祈って歌い田植えをしたり、祭囃子に合わせ踊ったりする見た目も華やかな農耕行事。			●	
日本遺産	尾道市	尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市	●	●		
	呉市	鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～	●	●		
	尾道市	“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島 －よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶－	●	●		
	尾道市・呉市	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～	●	●		
	福山市	瀬戸の夕凪が包む 国内随一の近世港町 ～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～	●	●		

表　広島県内の国名勝

	文化財の名称	所在地	うみ	まち	さと	やま
特別名勝	厳島	廿日市市宮島町	●			
	三段峡	山県郡北広島町，安芸太田町				●
名勝	帝釈川の谷（帝釈峡）	庄原市東城町，神石郡神石高原町				●
	鞆公園	福山市沼隈町，鞆町		●		
	縮景園	広島市中区上幟町		●		
	浄土寺庭園	尾道市東久保町		●		
	吉川元春館跡庭園	山県郡北広島町		●		
	旧万徳院庭園	山県郡北広島町		●		
	平和記念公園	広島市中区		●		

写真　世界遺産（原爆ドーム）

写真　世界遺産（嚴島神社）

● ひろしまお祭りガーデン（広島県内自治体共同花壇）

・広島県及び県内 23 市町のお祭りをテーマとして、花壇を描きます。

・各市町等のお祭りで使用されるもの（例：酒樽、バラ、タケや提灯など）を花壇の修景要素として取り込み、祭りの雰囲気が伝わってきやすい展示を行います。

・「ひろしまふるさと自慢」として、広島県及び県内２３市町の観光情報や花と緑の見所等を紹介するパネルを作成し、各ガーデンに設置します。なお、メイン会場の集中展開後（5 月 25 日～11 月 23 日）、「はなのわ」に移設します。

写真 ひろしまお祭りガーデンのイメージ

（3）ウェルカムゾーン

・ひろしまフェアの総合案内としての機能に加えて、広島県及び県内 23 市町の観光や物産、地域資源などの魅力に、五感で触れ合い、交流する場とします。
・「総合案内所」「インフォメーション 23」「イベント劇場 23」で構成します。

名称	整備主体	内容
総合案内所	実行委員会	ひろしまフェアの情報の発信 サービス提供（車いす・ベビーカーなど）
インフォメーション23 （総合案内所内）	実行委員会	県内の観光・23市町情報の発信
イベント劇場23 （テント）	実行委員会	県内23市町の実演イベントの展開 地域の物産・お土産物の販売 （見る、聴く、触れる、香る、食べるなど）

● 総合案内所・インフォメーション23

・パンフレットの配布やポスター・チラシの掲示等により、県内 23 市町のスポットイベント情報や観光情報を室内で情報発信できる場とします。
・ひろしまフェア開催期間中（3 月 19 日～11 月 23 日）、設置し続けることで、スポットイベント会場等の情報を発信し続けます。

● イベント劇場23

・県内 23 市町が実演等による演出や、物産の販売や試飲・試食、各種体験メニューの提供など、各市町の魅力を積極的に PR できる場とします。

図　イベント劇場 23 イメージパース

（4）イベント企画ゾーン

・実行委員会が行うイベントだけでなく、多様な主体との連携イベントを展開することで、にぎわいを楽しみ、交流する場とします。

・「イベントステージ」「イベント芝生広場」「広島グルメ」「花と緑のふれあい広場」で構成します。

名称	整備主体	内容
イベントステージ	実行委員会	屋根付きのステージを設置し、主催者イベント及び連携イベントを開催
イベント芝生広場	実行委員会	大芝生広場を設置し、主催者イベント及び連携イベントを開催 広島グルメの飲食の場としても活用
広島グルメ	実行委員会	広島ならではの飲食物の提供 お土産等の販売
花と緑のふれあい広場	実行委員会	花と緑を楽しむ各種体験メニューの提供、花と緑の展示会の開催 花き等の販売

● イベントステージ・イベント芝生広場

・屋根付きのイベントステージと、開放感のある芝生広場を一体的に設けます。

・周辺を花と緑で修景し、豊かな環境の中で活動し、安らぎ、笑うことの楽しさを体感できる場とします。

図　イベントステージ・イベント芝生広場イメージパース

● 広島グルメ

・「広島グルメ」では、新鮮でおいしい広島の食を提供することで、飲食しながら花や緑等を楽しめる場とします。

写真 広島グルメのイメージ（左：やまぐちフェア、右：はちおうじフェア）

● 花と緑のふれあい広場

・暮らしの中で具体的な緑化活動につながる体験教室を実施するとともに、普段から花緑に親しむ愛好家などと連携した展示会を開催します。

・花き等の販売も行い、来場者の具体的な緑化活動につながる場所とします。

写真 花と緑のふれあい広場のイメージ

（5）ひろしま海ゾーン

・瀬戸内海をテーマとした遊びと憩い、文化体験の場とします。
・こども達が、海をテーマとした遊びを通して、広島を感じ、花と緑を感じ、新たな友達をつくる場とします。

名称	整備主体	内容
こどもの海	実行委員会	海をテーマとした遊びとアートの展開

● こどもの海

・今では見られなくなった、山盛りの砂場など、こどもが海辺の要素で心ときめく遊びの場とします。
・トリックアートなどで瀬戸内海を表現するなど、瀬戸内のアートを作成します。

図　こどもの海イメージパース

（6）希望と思い出ゾーン

・平和記念公園の原爆死没者慰霊碑と原爆ドームを結ぶ軸線上に位置するゾーンとなるため、被爆、そして終戦から始まった広島の復興の歴史を振り返り、新たな広島の姿、新たな世界の平和の姿に想いを馳せる場とします。
・世界有数の平和の聖地として、平和、復興、希望などを記憶に留める場とします。

名称	整備主体	内容
にっぽんピースガーデン（県外自治体出展花壇）	県外自治体	日本全国の自治体が出展する花壇
未来に向けた思い出年表	実行委員会	被爆・終戦から75年、今後の25年の100年の出来事の年表（並木による軸線の演出）

● にっぽんピースガーデン（県外自治体出展花壇）

・日本全国の自治体から、「平和」をテーマとした花壇を募集し、展示します。
・平坦な地形の中で花とみどりの存在感を増すため、盛土構造にするとともに、植栽面を斜めにすることで、絵柄などが見えやすい構造とします。

● 未来に向けた思い出年表

・被爆・終戦から 75 年間は、県内の主要な出来事を写真等により展示するとともに、耐水カラー用紙に参加者の当時の思い出を綴ってもらい、展示します。2020 年から先の 25 年間は主に、参加者に「未来の自分史」などを綴っていただき、色鮮やかな軸線を構成します。
・1945 年から 2045 年（被爆・戦災 100 年）までの 100 年間について、10 年単位で西暦の路面表示を行います。（1950、1960・・・）
・園路沿いは、75 年間の様々な出来事の関りのある花も用いて修景します。

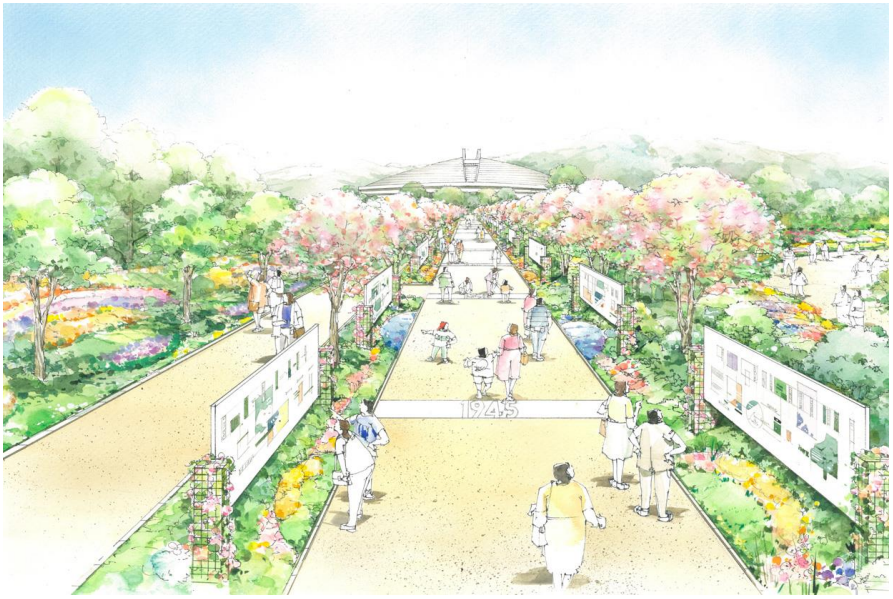


図　未来に向けた思い出年表イメージパース

（7）森のガーデンゾーン

- 既存のハノーバー庭園を中心に、既存樹木を活かした空間とします。
- 「未来の広島のライフスタイル」をテーマに、広島の庭園技術の技と美を集結し、美しい庭園の景に心奪われる場とします。
- 「ひろしま未来ガーデン」「森のカフェ」「こどもの森」で構成します。

名称	整備主体	内容
ひろしま未来ガーデン （企業団体等出展庭園）	企業、団体等	広島の造園、庭園、ガーデニングの技術やデザインが集結し、回遊できる森の中のガーデン ハンギングバスケット、コンテナガーデン展示
森のカフェ	企業、団体等	森の中で花や緑を見ながら憩えるカフェ
こどもの森	実行委員会	森・里・山をテーマとした遊びの展開

● ひろしま未来ガーデン（企業団体等出展庭園）

- 既存の植栽を活かしながら、「未来の広島のライフスタイル」をテーマとした、広島の技と技術、創造性が溢れた出展のガーデンとします。
- 既存のハノーバー庭園を中心に配置し、ハノーバー庭園もかつての様子が垣間見れるような展開を図ります。

図　ひろしま未来ガーデンイメージパース

● 森のカフェ
・営業出店により、カフェ等を配置します。

● こどもの森
・花や緑の豊かさを感じながら、森をテーマにこども達が遊び、家族みんなで憩える場とします。
・森や里の自然素材を活かした、竹馬などの遊び、チェンソーアート、大工体験等の遊びができる場とします。

（8）水の都ひろしまゾーン

・太田川の雄大な風景の中で、花や緑などの自然の美しさや心地よさを感じる場とします。
・川原での散策や憩い、体験、遊びなど、川ならではの楽しみが体験できる場とします。
・「水辺の花畑」「水辺のカフェ」「こどもの川」で構成します。

名称	整備主体	内容
水辺の花畑	実行委員会	広々とした川原にそよぐ雄大な種まき花壇
水辺カフェ	企業、団体等	川原で花を見ながら憩えるカフェ
こどもの川	企業、団体等	川をテーマとした遊びの展開
被爆シダレヤナギ	―	既存の被爆シダレヤナギの紹介

図　水の都ひろしまゾーンイメージパース

● 水辺の花畑
- 川辺の開放的な景観を活用した種子散布の花壇とします。
- 花壇の種播きでは、「たねダンゴ」の活用など、市民参加の取組を行います。

● 水辺カフェ
- 営業出店により、カフェ等を配置します。

● こどもの川
- 企業や団体と連携により、広島ならではの川遊びを楽しめる場とします。
- 既存の川へのアクセス動線を活用します。

● 被爆シダレヤナギ
- 爆心地に一番近い被爆シダレヤナギなど、既存の被爆樹木を紹介します。

写真　「たねダンゴ」の花畑のイメージ

写真　被爆樹木ガイドツアーのイメージ

（9） スケジュール

- 「はなのわ」及び「ひろしま風景ゾーン」等の旧広島市民球場跡地については、2019年８月中旬から整備を開始します。
- その他、「森のガーデンゾーン」及び「水の都ひろしまゾーン」については、それぞれ、2020年１月及び2019年11月から整備を開始し、2020年３月19日からの開催に向けて準備を進めます。

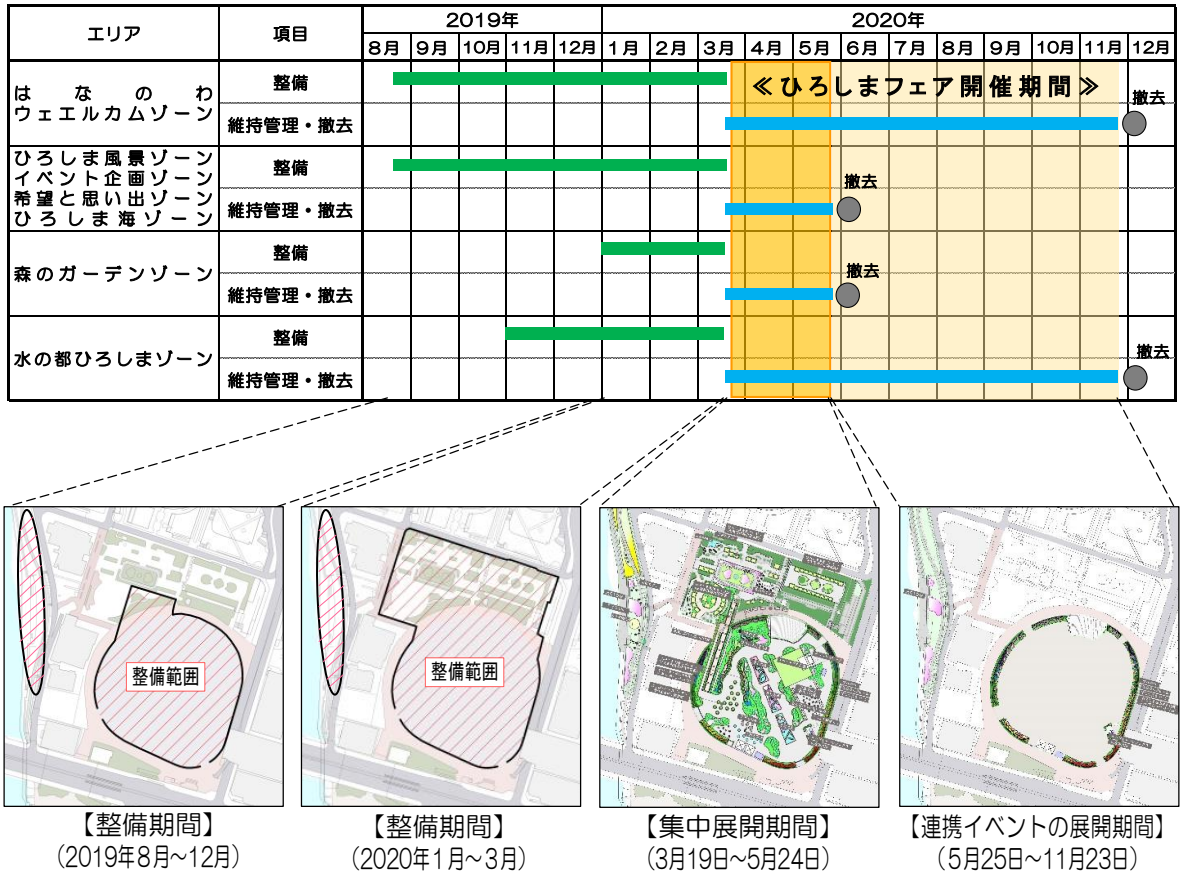


図　メイン会場の整備スケジュール

2-3　植物計画

（1）各ゾーンの主要な植物

・ひろしまフェアのメイン会場各ゾーンで見られる主な植物は次の通りとします。
・植物は、メイン会場の気象条件を鑑み選定します。

ゾーン等	開幕～GW	GW～5 月末	6 月～11 月
はなのわ	スティパ・チューリップ・アリウム・リナリア・アネモネ・パンジー・ガザニア・スイートアリッサム・ストック・宿根ネメシアなど	ニチニチソウ・バーベナ・ベゴニア・ペチュニア・ペンタス・ランタナ・ポーチュラカ・ロベリアなど	コリウス・サルビア・ジニア・マリーゴールド・ハーブ類など
ウェルカムゾーン	オステオスペルマム・ルピナス・宿根ネメシアなど	ベゴニア・ロベリア・ペチュニアなど	―
ひろしま風景ゾーン	フェスツカ・多肉植物・ルピナス・パンジー・ディフェンバキア・ワスレナグサ・宿根ネメシア・カレックス・モミジ・バラなど	ペチュニア・ニチニチソウ・ビスカス・アジュガ・ギボウシ・バラなど	―
イベント企画ゾーン	レモン・レッドキャベツ・レッドケール・アスパラ・レッドリーフレタス・ルメックスなど	ジンジャー、ミント、カモミール・タイム・ナスタチウムなど	―
希望と思い出ゾーン	カンナ・パンジー・スイートアリッサム・ゼラニウム・ツルニチニチソウ・宿根ネメシアなど	ペチュニア・アガパンサス・アリウム・エレモフィラなど	―
ひろしま海ゾーン	チューリップ・アネモネ・ガザニア・パンジーなど	ハマユウ・ハマヒルガオなど	―
森のガーデンゾーン	クサツゲ・チューリップ・ヒューケラ・パンジー・ルピナスなど	ニチニチソウ・ペチュニア・ランタナ・ニューサイランなど	―
水の都ひろしまゾーン	リナリア・セントーレア・カスミソウ・ネモフィラ・エスコルチア・アグロステンマなど		ハゲイトウ・コスモス・ジニア・クレオメ・センニチコウなど

（2）植栽区分及び時期

・ひろしまフェアにおける植栽区分と植栽時期は地域の気候、植物の特性、会場演出を考慮し、次の５期とします。

・３月から５月までのメイン会場としての花修景、その後 11 月まで「はなのわ」と水辺の花畑を残し、県内一円に広がるひろしまフェアの盛り上がりを支援します。

植栽区分	時期	特徴	手法
秋植え植栽	2019 年 10 月～11 月	・秋植え播種の植栽 ・秋植え球根の植栽 ・樹木の植栽	・たねダンゴ
オープン植栽	2020 年 ２月～3 月	・２月は耐寒性に優れた草花の植栽 ・３月は耐寒性が若干劣る草花の植栽 ・草花とあわせ高中木、低木の植栽	・県民参加による植栽
４月衣替え植栽	2020 年 ４月	・ゴールデンウィーク後から花期が終わる草花に代わる草花の植栽	・県民参加による植栽
６月衣替え植栽	2020 年 ６月	・耐暑性に優れた草花の植栽	・県民参加による植栽
９月衣替え植栽	2020 年 ９月	・秋から冬にかけて開花する草花の植栽	・県民参加による植栽

３　協賛会場計画

3-1　基本的な考え方

・各公園の物的・人的な既存ストックを活かしながら、それぞれの会場にふさわしい出展や展示手法を取り入れた様々な協賛イベント等を開催し、各公園の特性に応じた多様な公園利用者が、花や緑のある豊かなライフスタイルなどを実感できる会場とします。

・各公園の特性に応じたスポーツ、レクリエーション、文化活動等の多様な公園利用者に、各地域のスポットイベント会場の情報発信を行い、回遊を促進する会場とします。

・地域の企業や団体、学校、県民など、様々な主体が楽しみながら参加できる仕組みを取り入れ、豊かな地域づくりの担い手の育成につなげていきます。

・ひろしまフェアを契機に、国営公園・広域公園として地域との連携（地域情報の発信と地域住民の公園活動への参加等）をさらに高め、圏域の地域づくりに資する公園づくりへとつなげていきます。

国営備北丘陵公園

県立せら県民公園

県立びんご運動公園

県立みよし公園

スポットイベント等地域情報の発信例

写真　協賛会場等

3-2　展開方針

- 各協賛会場に「情報発信コーナー」などを設置し、周辺のスポットイベント会場を中心に、メイン会場・協賛会場のイベント情報やアクセス情報を提供して、各会場を連携します。
- スタンプラリーの実施や公共交通の周遊パスの利用促進など、各会場への回遊を促す仕組みづくりに取り組みます。
- 県民参加による花修景等を行うとともに、花や緑の専門家と地域の花緑関係者を交えた「都市緑化シンポジウム」を開催するなど、緑化意識の高揚や花・緑を活用した地域づくりの展開を図ります。

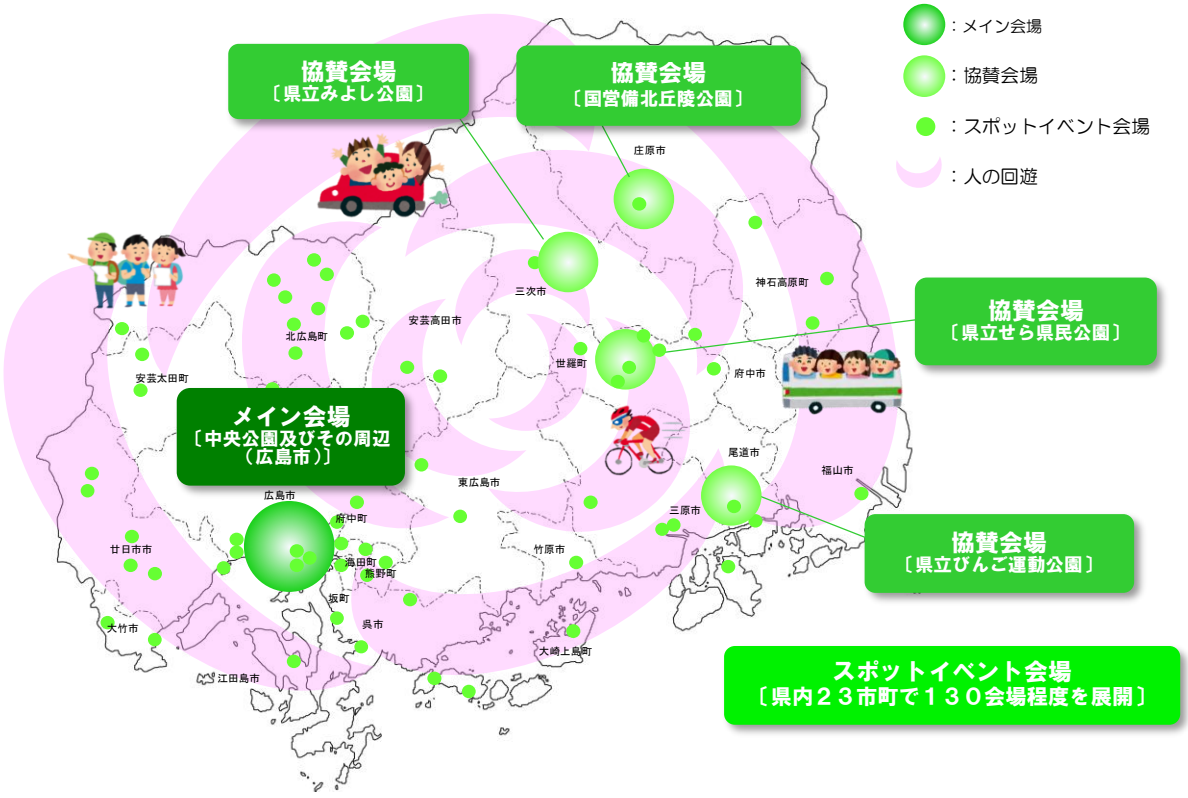


図　会場の配置と展開イメージ

3-3　各協賛会場での取組

（1）国営備北丘陵公園

- 春～晩秋までのひろしまフェア開催期間にわたる花修景や各種県民出展、花や緑の文化を楽しむ体験、中国地方のふるさとの体験等を楽しめる既存イベントを協賛イベントに位置付け、花や緑のあるライフスタイルの豊かさを実感できる会場とします。
- 中国地方全域から利用のある国営公園として、ひろしまフェアの広域的な情報発信を行います。

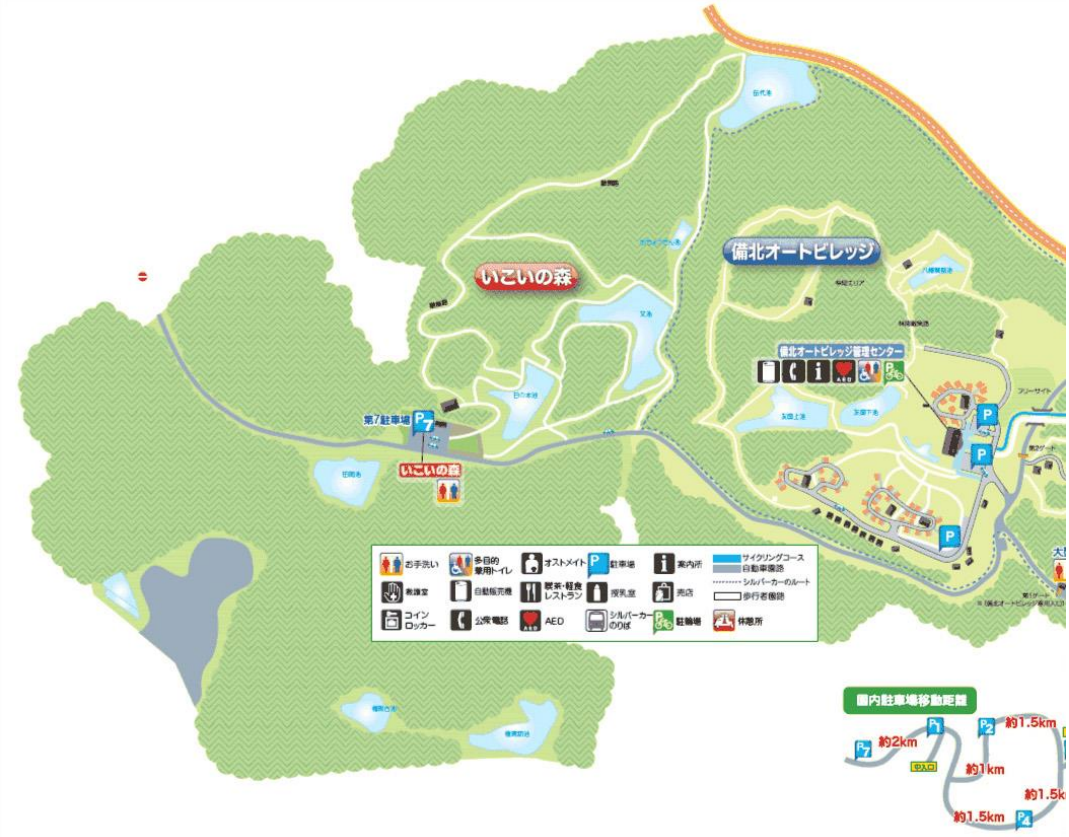


表　既存修景とイベント展開例

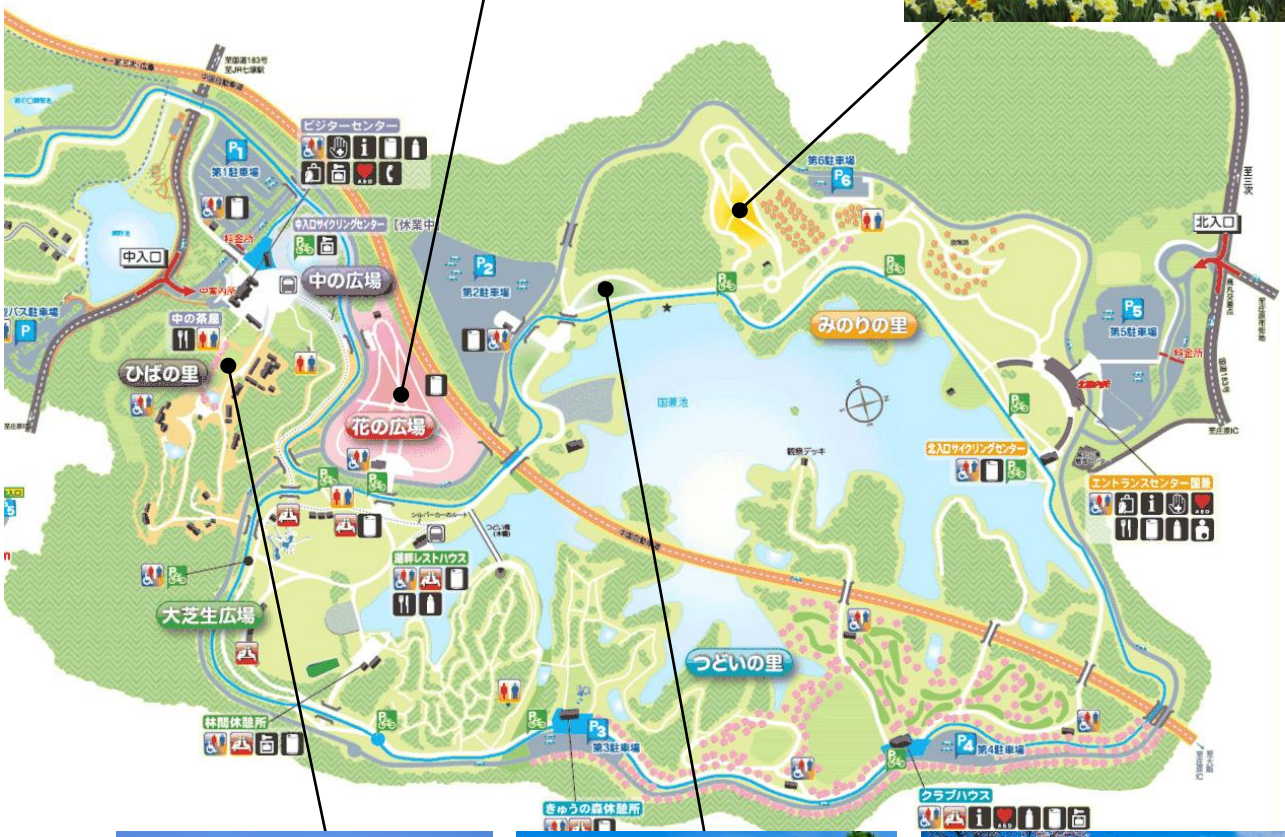
イベント	開催時期	概要
備北 花ピクニック	３月中旬～ ５月中旬	スイセンガーデンや花の広場（チューリップ等）を中心に春の花を観賞し、スイセンにちなんだイベントやガーデニングワークショップ等の花緑、遊び、食、体験、歴史文化・伝統芸能に関する各種イベントを展開
備北夏まつり	７月下旬～ ８月下旬	みのりの里等での夏の花修景（ひまわり等）の演出とともに、夏休みの遊び体験（カブトムシ、水遊びさとやま夏遊び）や食に関する各種イベントを展開
備北コスモス ピクニック	９月中旬～ 10 月中旬	花の広場（コスモス等）を中心に秋の花を観賞し、ガーデニングワークショップや庄原市と連携した「庄原ガーデンショー」等の花と緑、遊び、食、体験、歴史文化・伝統芸能に関する各種イベントを展開
ウインター イルミネーション	11 月下旬～ 12 月下旬	奥行きのある里山の地形、庄屋屋敷や農家、池や樹林地等のふるさとの景観を活かし、他では見ることができない特徴的なイルミネーションと、遊び、食、体験、歴史文化・伝統芸能に関する各種イベントを展開

■花の広場

春は約 300 万本の花々（チューリップ、ビオラ、ムスカリ、アイスランドポピー等）が咲き誇り、色あざやかな春の訪れを感じさせてくれる。秋は約 180 万本のコスモスが花の広場一面に咲き広がる。

■スイセンガーデン

日本一規模の 700 品種、約 170 万本のスイセンが咲き広がり、うららかな春の訪れを感じさせてくれる。丘一面に咲くスイセンやハナモモのここならではの景色を鑑賞することができる。



■ひばの里

明治後期～昭和初期の地域の暮らしぶりを再現し、四季を通じて里山の花々が咲き、懐かしいふる里を感じ、体験することができる。

■ピクニック広場

春に約 130 万本のネモフィラが緩やかな傾斜へ青い絨毯が丘を越えて空へ続く景色を鑑賞することができる。夏は約５万本のヒマワリが咲き誇る。

■つどいの里

春に約 1,000 本の桜が咲く景色を鑑賞することができる。

（2）県立せら県民公園

・公園の設置目的「県民の安らぎ交流拠点の創出、地域交流や自然とのふれあいを通じて心身を癒しリフレッシュできる場の創出」を踏まえ、「花と自然とのふれあい」をテーマに、観光交流を拡大できる展開を図ります。
具体的には、以下の内容に取り組みます。

表　取組概要

項目	内容
修景	・希少な蝶（ヒョウモンモドキ）の食草や吸蜜植物となる在来の花（キセルアザミ、ノアザミ）の増殖による生息環境づくり（県民参加） ・ミニチュアガーデンでの観光農園との連携による観光交流の拡大の検討（花壇やPRパネルなどの設置検討） ・遊びの要素の充実化
イベント等取組	・地域施設との連携による地域周遊の魅力の向上（ワイナリー利用者へ自然観察園の希少な野花（サギソウ群生等）のガイド等の楽しみの提供）

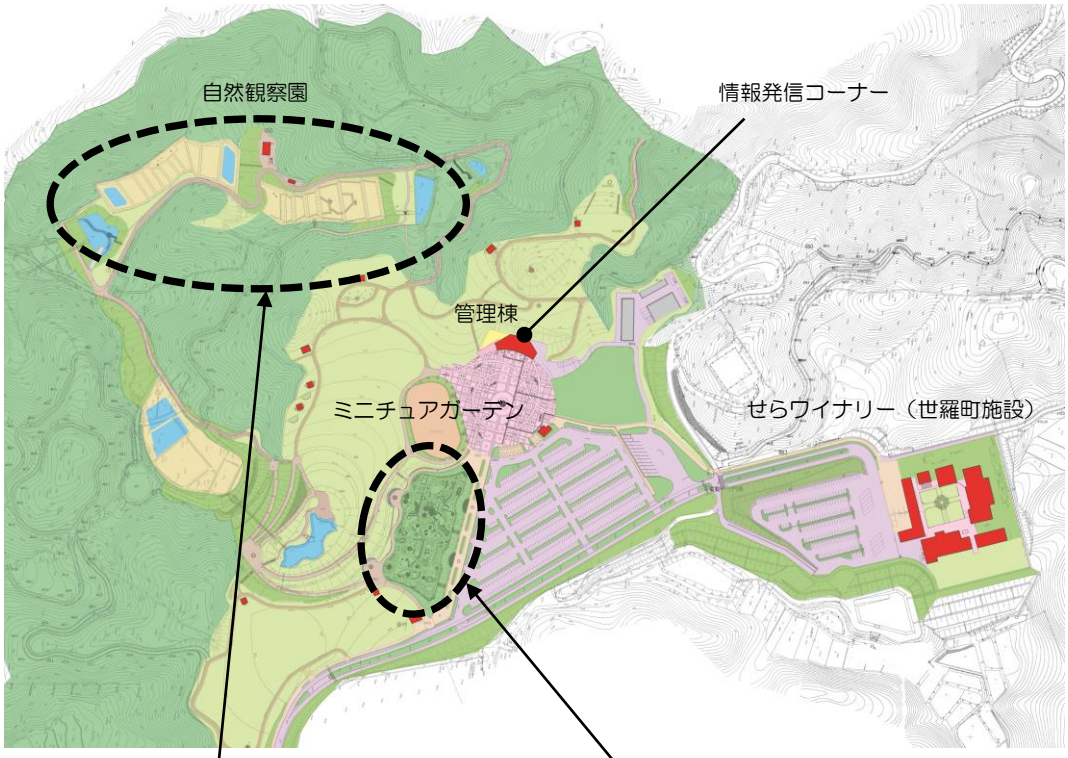


写真　県民参加によるヒョウモンモドキの生息環境づくり

写真　ミニチュアガーデンでの観光農園との連携による観光交流の拡大の検討

（3）県立びんご運動公園

・公園の設置目的「備後地域住民のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興」を踏まえ、「花とレクリエーション」をテーマに、花や緑に包まれて遊ぶ豊かさが感じられる展開を図ります。
具体的には、以下の内容に取り組みます。

表　取組概要

項目	内容
修景	・冒険の森や多目的広場を花で修景し（県民参加で植え付け）、花に包まれて遊びやウォーキング等が楽しめる演出強化 ・花畑を使ったレクリエーションの提供（花畑迷路などの検討）
イベント等取組	・冒険の森での花や緑を活かした遊びの提供（県内団体等との連携） ・広場でのピクニックの魅力を高めるサービスの検討

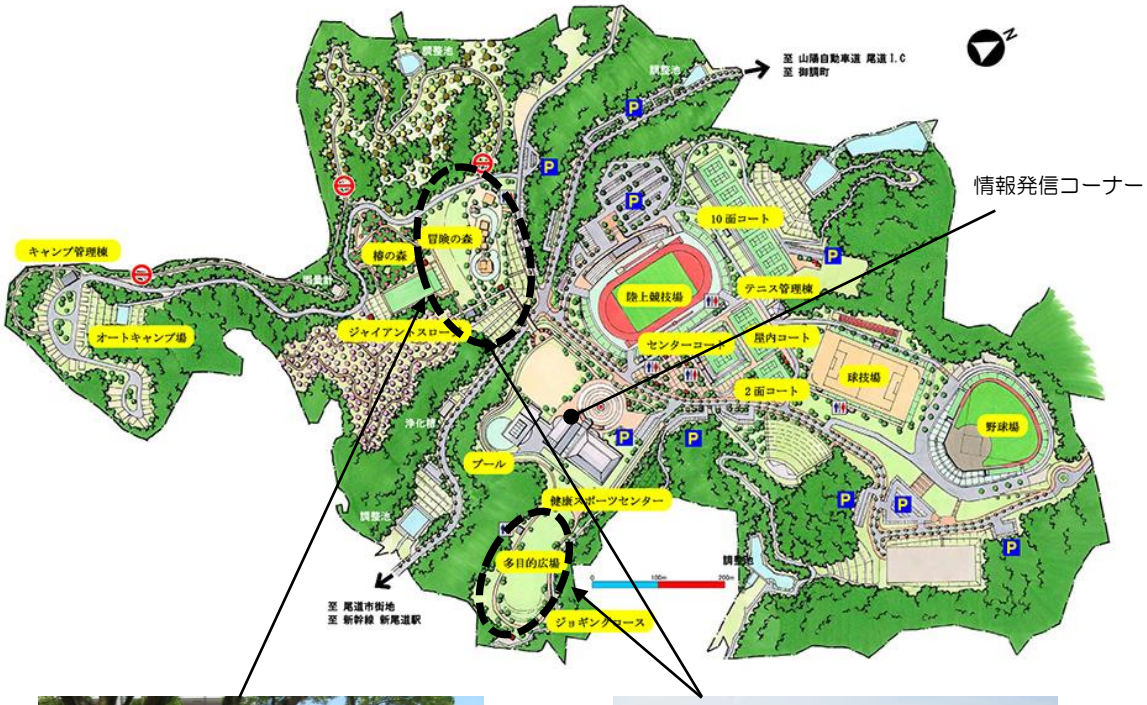


写真　冒険の森での花や緑を活かした遊びの提供（県内団体との連携）

写真　冒険の森や多目的広場を県民参加で花修景、花畑を使ったレクリエーションの提供

（4）県立みよし公園

・公園の設置目的「備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興」を踏まえ、「花と文化」をテーマに、花を楽しむ公園文化の豊かさが感じられる展開を図ります。
具体的には、以下の内容に取り組みます。

表　取組概要

項目	内容
修景	・しょうぶ園の記念撮影の場にもなるフォトスポットの演出強化 ・芝生広場を花（県民参加で植え付け）で包み、ピクニックや広場遊びの魅力向上 ・花によるウェルカム演出の向上
イベント等取組	・しょうぶ園を楽しむアクティビティの充実化 ・芝生広場でのピクニックの魅力を高めるサービスの検討

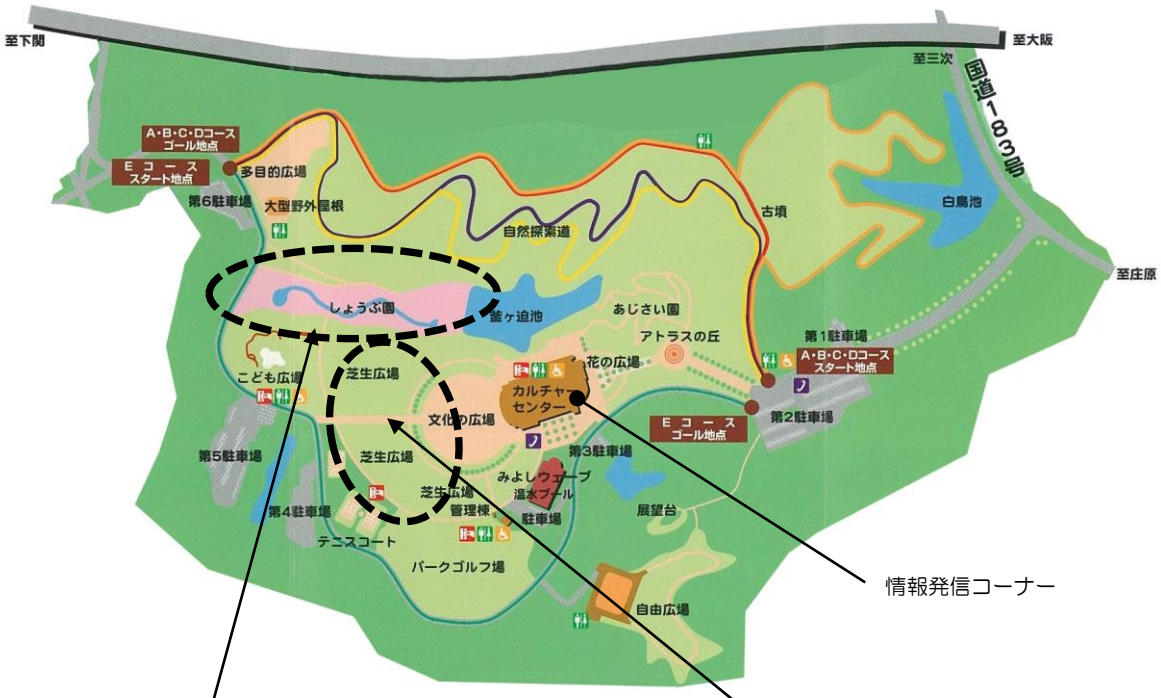


写真　しょうぶ園の演出強化とアクティビティの充実化

写真　県民参加による芝生広場の花修景とピクニックや広場遊びの魅力向上

４　スポットイベント会場計画

4-1　基本的な考え方

- 既存イベントを花や緑等でブラッシュアップし、地域の花や緑、伝統文化等の魅力を実感できる会場とします。
- 花や緑をつなぎ手として、地域住民と来訪者との交流、地域住民と他のスポットイベント会場の地域住民との交流など、新たな交流を生み出す会場とします。
- 地域の企業や団体、学校、県民など、地域が主体となって、花と緑等によるにぎわいや地域の豊かなライフスタイルを創造する会場とし、豊かな地域づくりの担い手の育成につなげていきます。

広島市

呉市

竹原市

三原市

尾道市

福山市

府中市

三次市

庄原市

写真　スポットイベント会場の展開例

大竹市

東広島市

廿日市市

安芸高田市

江田島市

府中町

海田町

熊野町

坂町

安芸太田町

北広島町

大崎上島町

世羅町

神石高原町

ひろしま
はなのわ
2020

写真　スポットイベント会場の展開例

4-2　展開方針

表　スポットイベントのブラッシュアップ例

種別	ブラッシュアップ例
花や庭園が主役のイベント	・花を活用した体験メニューの充実化（見るだけでなく、花を五感で楽しむ） ・ガイドの実施（花のガイドや庭園ガイド等、花と地域との関係性を伝え、花を通じて地域への共感を呼ぶ）　等
自然・農に親しむイベント	・その地域ならではの自然体験プログラムの充実化 ・収穫だけでなく、食べる体験を含めた充実化 ・自然体験や農体験に合わせた地域の魅力の発信（ご当地マルシェ等との共催による特産品や人との出会いの創出）　等
伝統文化にふれあうイベント	・伝統文化（筆、酒、竹、花田植え、神楽等）と花や緑とのコラボレーション ・様々な筆で「花」を描く体験、竹筒の一輪挿しや生け花による歴史的町並みの演出、生花で飾る花田植え、花や紅葉を題材とした神楽　等
健康・スポーツイベント	・花や緑を通じて地域の魅力が感じられるウォーキングイベントの最適時期やコース設定 ・ウォーキングイベント等の休憩ポイント等で、地域ならではの花や緑を五感で楽しめる体験メニューや食の提供 ・参加賞や表彰での地域ならではの花苗や冠の提供　等
ミュージアムイベント	・花や緑をテーマとした企画展示の展開 ・動物と生息地の気候帯の植物との関係性の企画展示、戦災復興や平和と「花」との関係性をテーマとした企画展示、花や庭園の絵画コレクションの企画展示 ・花の写生大会、花や自然を描く絵画教室、クラフト教室 ・花や庭園の書籍や絶版本コレクションの企画展示　等
その他のイベント	・祭りのコンセプトや地域性を表現できる花をみんなで考え、その花で祭りを演出（外国人にも共感を呼べるような、地域や祭りとの物語性のある花をセレクト） ・花とステージショー、花と映画祭、花と音楽、花とパレード、花と港、花と花火、花と追悼・鎮魂、花とワイン、花とだるま、花と踊り、花と城跡　等

着物姿での庭園ガイド
（外国語ガイド）

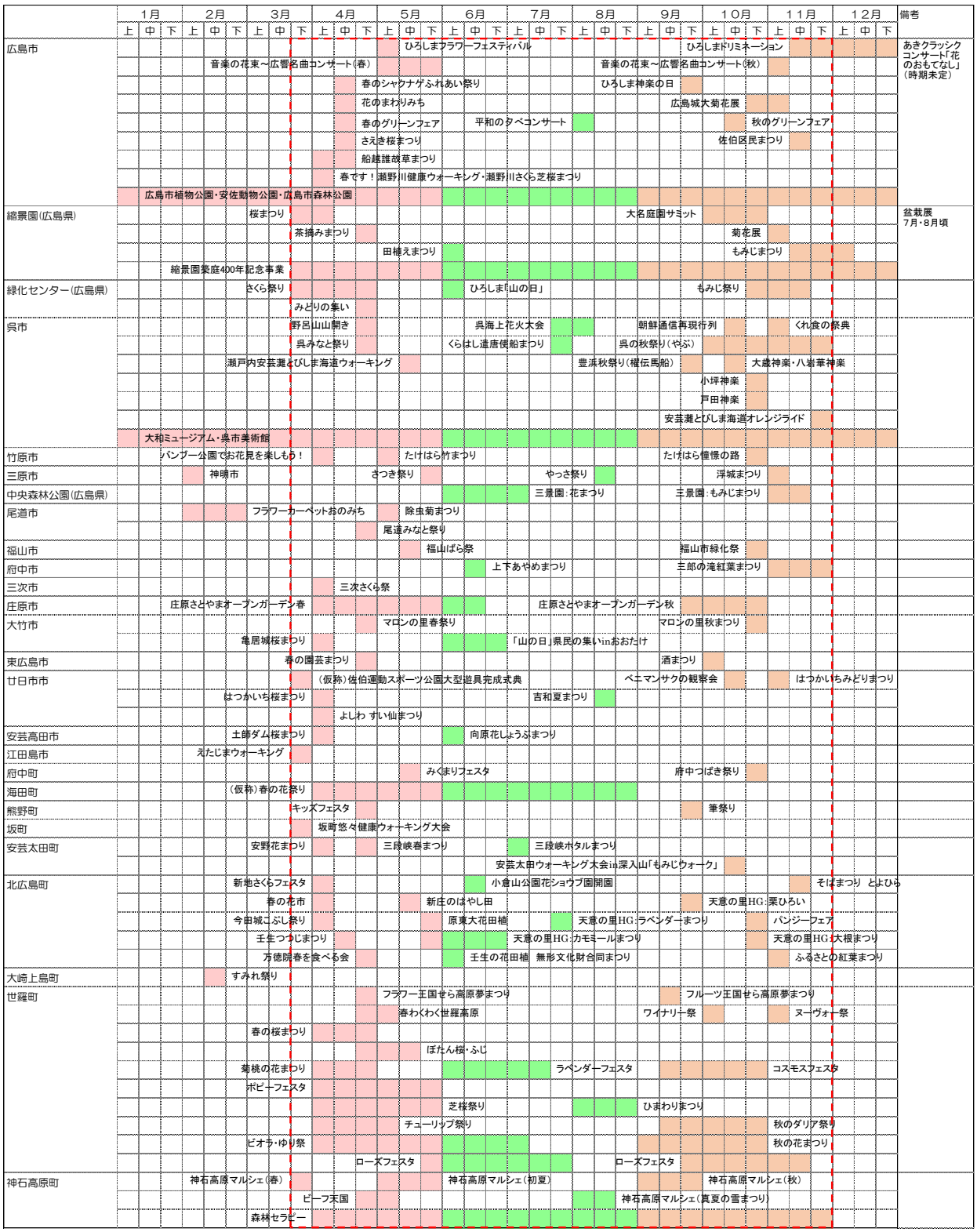
竹筒の一輪挿し等で統一された
歴史的町並みの豊かな演出

緑化フェアに合わせた古本市イベント
（花や庭園本コーナーの特設）

写真　スポットイベントでのブラッシュアップ例

表　スポットイベント会場の展開スケジュール例

：ひろしまフェア開催期間（3月19日～11月23日）



※上表に挙げたスポットイベント会場はあくまで候補の一例であり、今後内容が変更することがあります。

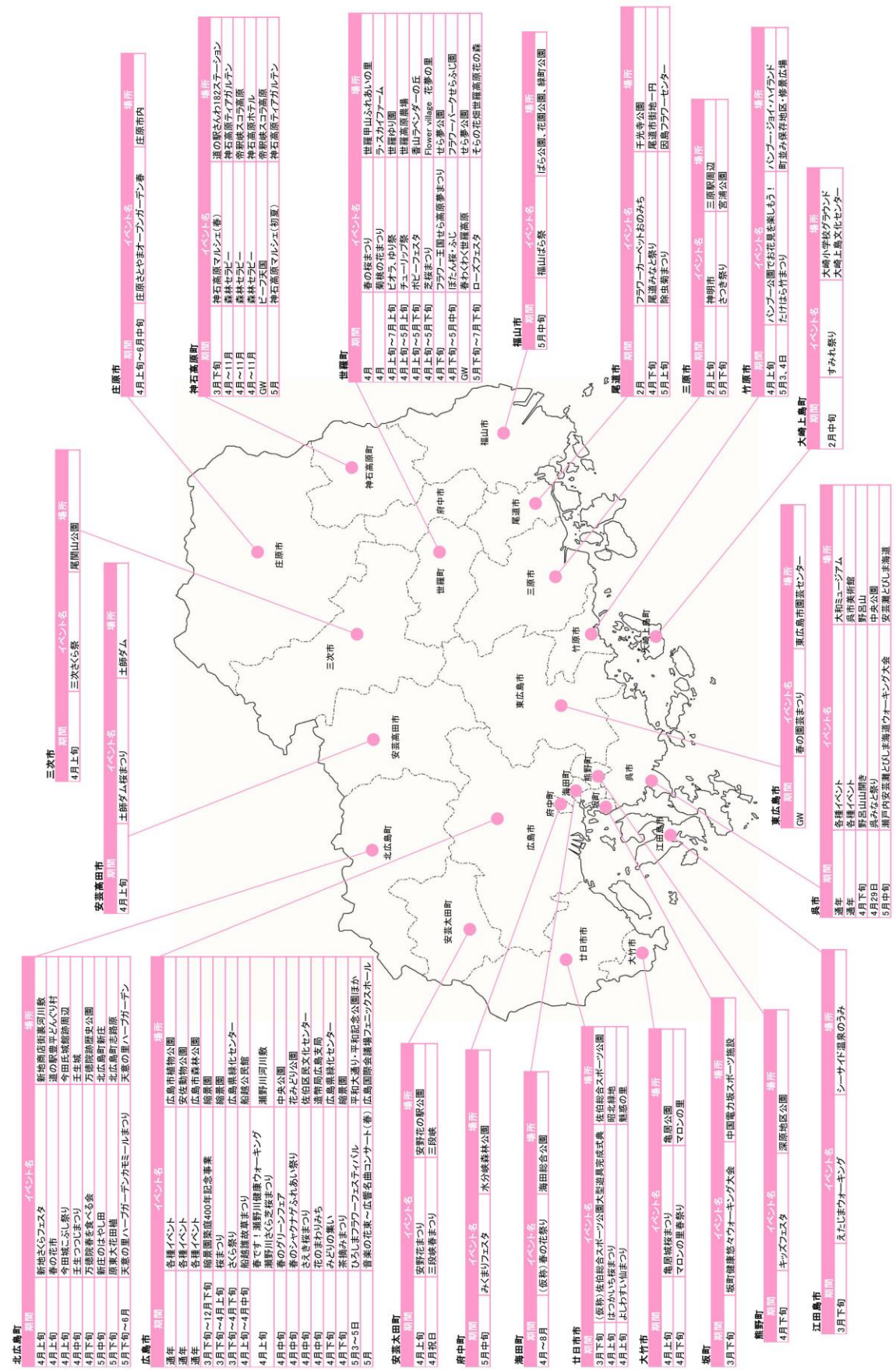


図　スポットイベント会場の展開例（1～5月）

北広島町

期間	イベント名	場所
4月上旬	新地さくらフェスタ	新地商店街裏河川敷
4月上旬	春の花市	道の駅豊平どんぐり村
4月上旬	今田城ごぶし祭り	今田氏城館跡周辺
4月中旬	王生つつじまつり	王生城
4月下旬	万徳院春を食べる会	万徳院跡歴史公園
5月中旬	新庄のはやし田	北広島町新庄
5月下旬	原東太花街道	北広島町志路原
5月下旬～6月	天竜の里ハーブガーデンカモミールまつり	天竜の里ハーブガーデン

広島市

期間	イベント名	場所
通年	各種イベント	広島市植物公園
通年	各種イベント	安佐動物公園
通年	各種イベント	広島市森林公園
3月下旬～12月下旬	縮景園築庭400年記念事業	縮景園
3月下旬～4月上旬	桜まつり	縮景園
3月下旬～4月下旬	さくら祭り	広島県緑化センター
4月上旬～4月中旬	船越桜並木まつり	船越公民館
4月上旬	春ぞすＩ瀬野川健康ウォーキング	瀬野川河川敷
4月中旬	瀬野川さくら芝桜まつり	
4月中旬	春のグリーンフェア	中央公園
4月中旬	春のシャクナゲふれあい祭り	花みどり公園
4月中旬	さえき桜まつり	佐伯区民文化センター
4月中旬	花のまわりみち	造幣局広島支局
4月下旬	みどりの集い	広島県緑化センター
4月下旬	茶摘みまつり	縮景園
5月3～5日	ひろしまフラワーフェスティバル	平和大通り・平和記念公園ほか
5月	音楽の花束～広響名曲コンサート（春）	広島国際会議場フェニックスホール

安芸太田町

期間	イベント名	場所
4月上旬	安野花まつり	安野花の駅公園
4月祝日	三段峡春まつり	三段峡

府中町

期間	イベント名	場所
5月中旬	みくまりフェスタ	水分峡森林公園

海田町

期間	イベント名	場所
4月～8月	（仮称）春の花祭り	海田総合公園

廿日市市

期間	イベント名	場所
3月下旬	（仮称）佐伯総合スポーツ公園大型遊具完成式典	佐伯総合スポーツ公園
4月上旬	はつかいち桜まつり	昭和桜地
4月上旬	よしわすい仙まつり	観楽の里

大竹市

期間	イベント名	場所
4月上旬	亀居城桜まつり	亀居公園
4月下旬	マロンの里春祭り	マロンの里

坂町

期間	イベント名	場所
3月下旬	坂町健康悠々ウォーキング大会	中国電力坂スポーツ施設

熊野町

期間	イベント名	場所
4月下旬	キッズフェスタ	深原地区公園

江田島市

期間	イベント名	場所
3月下旬	えたじまウォーキング	シーサイド温泉のうみ

三次市

期間	イベント名	場所
4月上旬	三次さら祭	尾関山公園

安芸高田市

期間	イベント名	場所
4月上旬	土師ダム桜まつり	土師ダム

庄原市

期間	イベント名	場所
4月上旬～6月中旬	庄原さとやまオープンガーデン春	庄原市内

神石高原町

期間	イベント名	場所
3月下旬	神石高原マルシェ(春)	道の駅さんわ182ステーション
4月～11月	森林セラピー	神石高原ティアガルデン
4月～11月	森林セラピー	帝釈峡スコラ高原
4月～11月	森林セラピー	神石高原ホテル
GW	ビーフ天国	帝釈峡スコラ高原
5月	神石高原マルシェ(初夏)	神石高原ティアガルデン

世羅町

期間	イベント名	場所
4月	春の桜まつり	世羅甲山ふれあいの里
4月	菊様の花まつり	ラ・スカイファーム
4月上旬～7月上旬	ビオラ、ゆり祭	世羅ゆり園
4月上旬～5月上旬	チューリップ祭	世羅高原農場
4月上旬～5月下旬	ポピーフェスタ	香山ラベンダーの丘
4月上旬～5月下旬	芝桜まつり	Flower village　花夢の里
4月下旬	フラワー王国せら高原夢まつり	せら夢公園
4月下旬～5月中旬	ぼたん祭・ふじ	フラワーパークせらふじ園
GW	春わくわく世羅高原	せら夢公園
5月下旬～7月下旬	ローズフェスタ	そらの花畑世羅高原花の森

福山市

期間	イベント名	場所
5月中旬	福山ばら祭	ばら公園、花園公園、緑町公園

尾道市

期間	イベント名	場所
2月	フラワーカーペットおのみち	千光寺公園
4月下旬	尾道みなと祭り	尾道市街地一円
5月上旬	除虫菊まつり	因島フラワーセンター

三原市

期間	イベント名	場所
2月上旬	神明市	三原駅周辺
5月下旬	さつき祭り	宮浦公園

竹原市

期間	イベント名	場所
4月上旬	バンブー公園でお花見を楽しもう！	バンブー・ジョイ・パイランド
5月3、4日	たけはら竹まつり	町並み保存地区・修景広場

大崎上島町

期間	イベント名	場所
2月中旬	すみれ祭り	大崎小学校グラウンド 大崎上島文化センター

東広島市

期間	イベント名	場所
GW	春の園芸まつり	東広島市園芸センター

呉市

期間	イベント名	場所
通年	各種イベント	大和ミュージアム
通年	各種イベント	呉市美術館
4月下旬	野呂山山開き	野呂山
4月29日	呉みなと祭り	中央公園
5月中旬	瀬戸内安芸灘とびしま海道ウォーキング大会	安芸灘とびしま海道

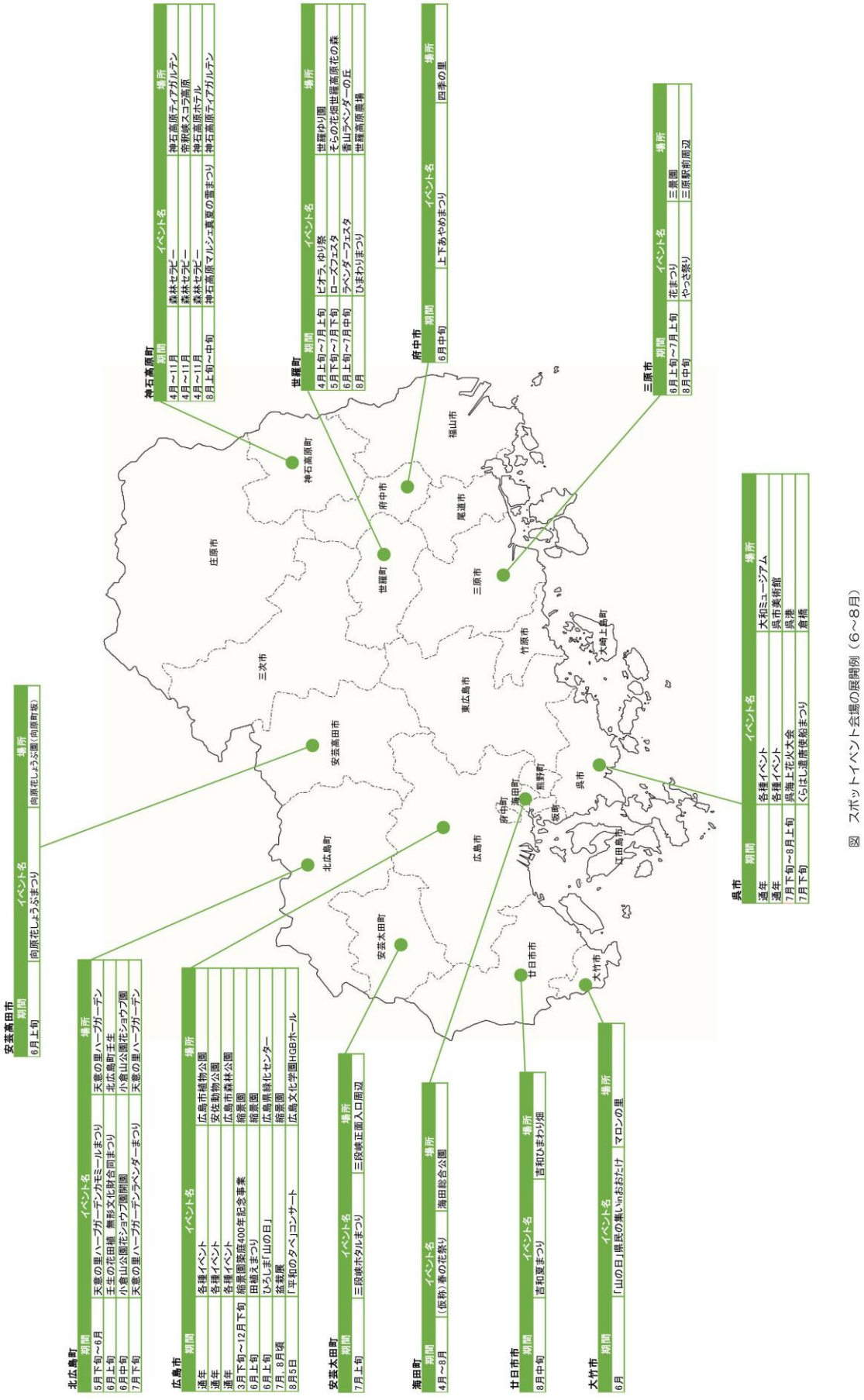


図　スポットイベント会場の展開例（6~8月）

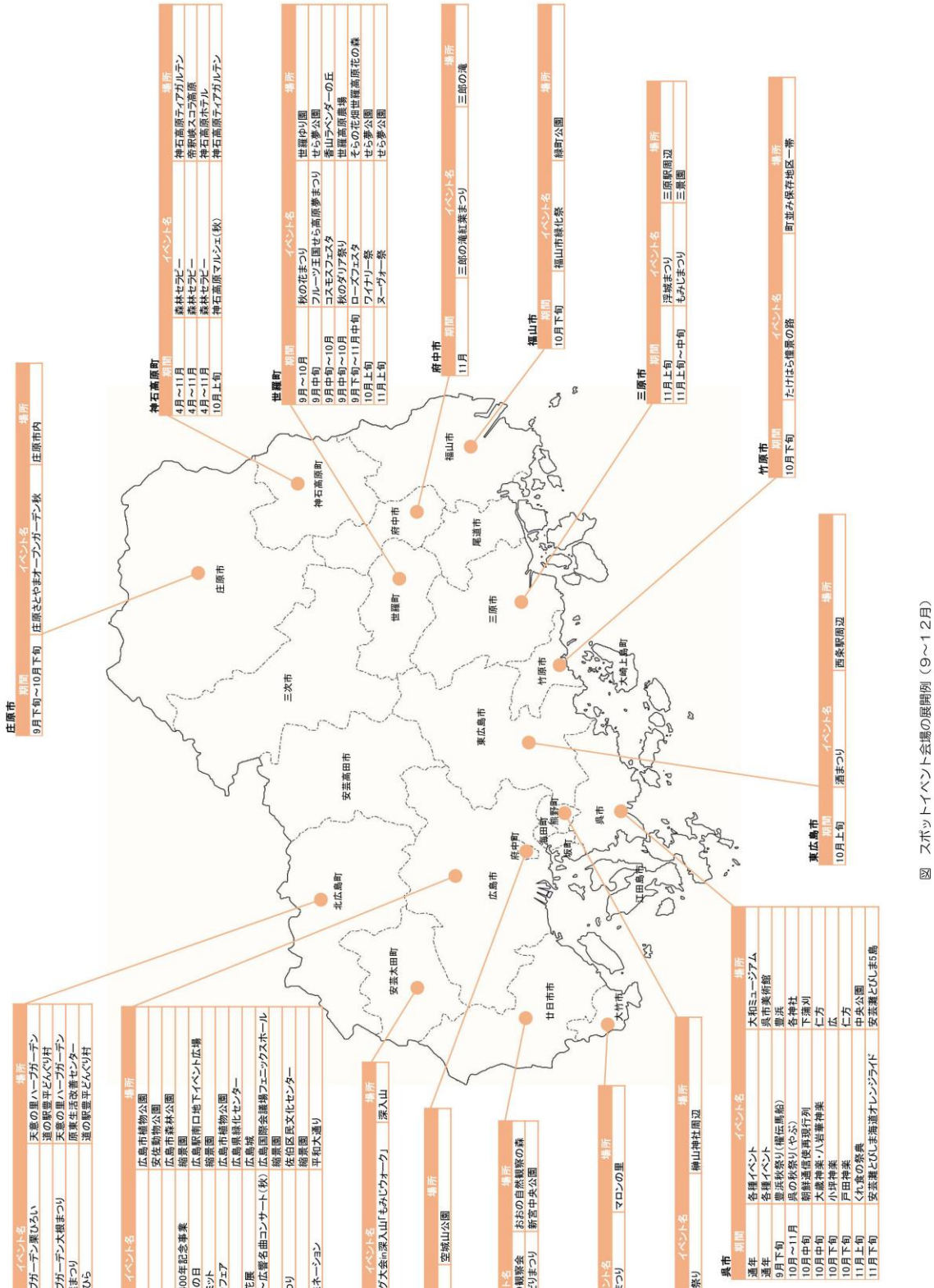


図　スポットイベント会場の展開例（9～12月）

５　展示・出展計画

5-1　基本的事項

（1）基本的な考え方

- 広島県及び県内 23 市町が連携することで、ひろしまフェアの基本理念や基本方針を体現できるような内容とします。
- 中四国最大都市の中心市街地にあり公共交通の利便性が高く、平和記念公園や原爆ドームに隣接し国内外から多くの観光客の来訪が期待できるメイン会場の特徴を活かし、協賛会場やスポットイベント会場への回遊・情報発信の拠点としての機能をそなえた内容とします。
- 花や緑を通じて、あらゆる世代（特に、こどもや家族連れ）が楽しめるような内容とします。
- 自治体や企業・団体、県民等の様々な主体の参加を求めて会場を作り上げるとともに、県民の今後の緑化活動のきっかけづくりとなるような内容とします。
- 園芸や造園、緑化等の技術や活動などを全国的な視点から評価顕彰することにより、その技術や活動の情報発信と一層の緑化推進につながる内容とします。

（2）展示・出展の定義

展示	ひろしまフェアの基本理念・基本方針及び開催テーマなどを表現するため、実行委員会が自ら企画、デザイン、施工（制作）する展示物
出展	・参加者が自ら企画、デザイン、施工（制作）し、会場内に設置する作品 ・実行委員会がひろしまフェアの基本理念・基本方針及び開催テーマなどを踏まえて設定したテーマや作品形態に、参加者が制作する作品

（3）展示・出展のゾーンごとの会場構成

ゾーン	ゾーンの考え方	構成（展：展示、出：出展）
はなのわ	ひろしまフェアの象徴として、会場を包み、県民をつなぐ、「県民参加の花と緑のわ」を演出するゾーン	（展）はなのわフレーム （出）はなのわガーデン （展）ひろしまふるさと自慢
ひろしま風景ゾーン	広島の海から山までの多彩な風景を花や緑により体感するゾーン	（展）ひろしま百景花壇 （展）ひろしまお祭りガーデン （展）ひろしまふるさと自慢
希望と思い出ゾーン	広島の平和と復興のメッセージを世界に発信するゾーン	（展）未来に向けた思い出年表 （出）にっぽんピースガーデン
森のガーデンゾーン	花や緑のある豊かなライフスタイルを五感で満喫するゾーン	（出）ひろしま未来ガーデン （出）ハンギングバスケット・コンテナガーデン
水の都ひろしまゾーン	広島の川のある風景や豊かなライフスタイルを五感で満喫するゾーン	（展）水辺の花畑

5-2　展示計画

（1）基本的な考え方

- 県内全域で開催されるひろしまフェアの特色を最大限に活かしながら、広島の豊かな自然や文化の魅力の再発見につなげるとともに、「花と緑」がつなぐ広島の魅力を広く国内外に発信する内容とします。
- 出展計画と連動しながら、花や緑、地域資源や人など、広島の様々な力を結集させた構成とします。

（2）展示区分

ゾーン	展開	規模
はなのわ	はなのわフレーム ひろしまふるさと自慢	3,000㎡
ひろしま風景ゾーン	ひろしま百景花壇	2,900㎡
	ひろしまお祭りガーデン ひろしまふるさと自慢	400㎡
希望と思い出ゾーン	未来に向けた思い出年表	700㎡
水の都ひろしまゾーン	水辺の花畑	500㎡

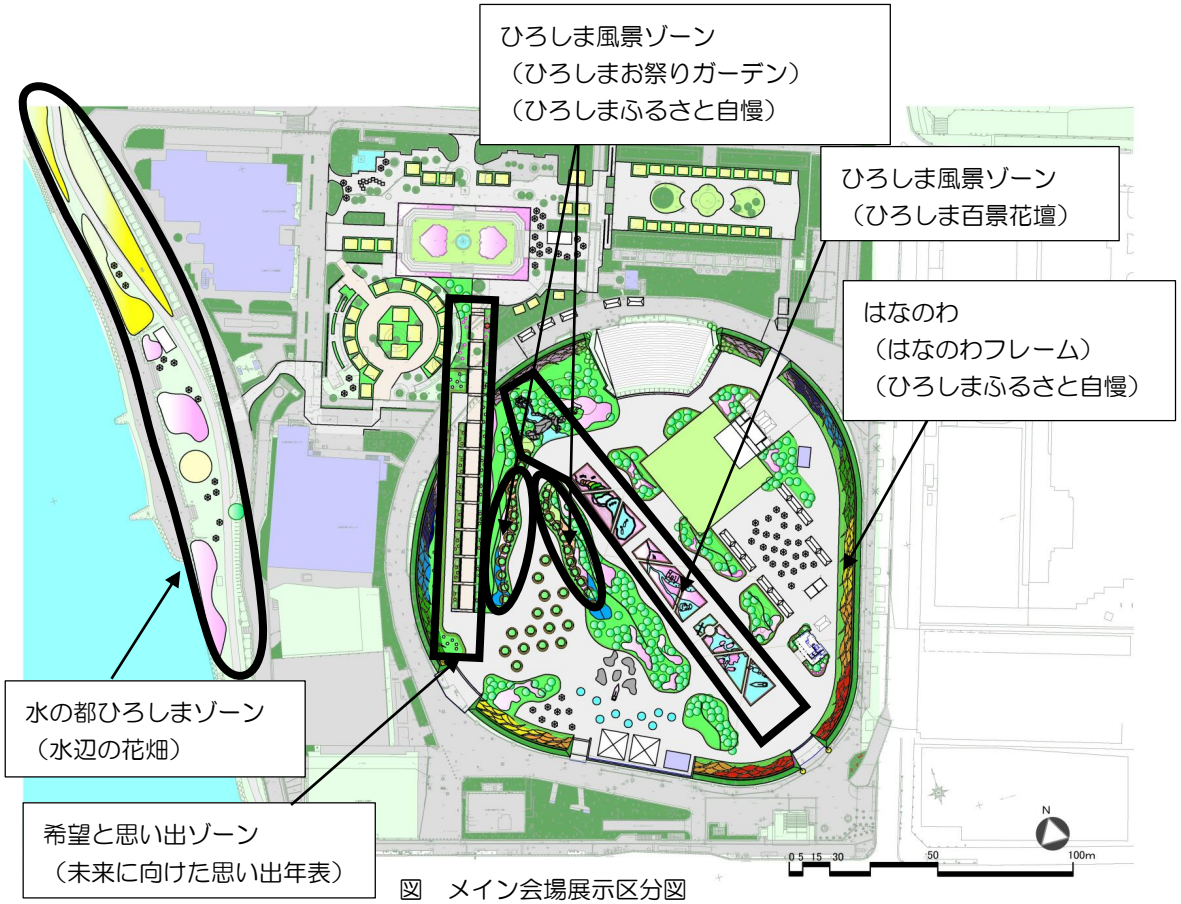


図　メイン会場展示区分図

（3）はなのわフレーム

項目	内容
概要	県民参加による「はなのわガーデン」と一体となった花壇で、メイン会場の中心的な展示物として、ひろしまフェアの全期間で展示
展示構成	実行委員会が設計、整備
デザイン方法	コンセプトに沿ったデザインを実行委員会が設計
展示期間	２０２０年3月１９日（木）～１１月２３日（月・祝）２５０日間

（4）ひろしまふるさと自慢

項目	内容
概要	広島県及び県内23市町のふるさと自慢を紹介したパネル
展示構成	広島県及び県内23市町それぞれ1枚のパネルの中で、花緑資源等の地域資源、お祭り（ひろしまお祭りガーデンの説明）、スポットイベント等を紹介
デザイン方法	広島県及び県内23市町が設計
展示期間	＜ひろしまお祭りガーデンでの展示期間＞ ２０２０年3月１９日（木）～5月２４日（日）６７日間 ※メイン会場集中展開期間 ＜「はなのわ」での展示期間＞ ２０２０年5月２５日（月）～１１月２３日（月・祝）１８３日間

（5）ひろしま百景花壇

項目	内容
概要	瀬戸内海から中国山地にかけての自然や歴史が融合した広島県ならではの風土を４つの景（うみ、まち、さと、やま）で演出する花壇
展示構成	○うみの景（広島の多島美の景色をモチーフとした花壇） ○まちの景（広島の都市部の景色をモチーフとした花壇） ○さとの景（広島の里山の風景をモチーフとした花壇） ○やまの景（広島の緑ゆたかな山間部の風景をモチーフとした花壇）
演出イメージ	世界遺産や名勝などのわかりやすい題材をベースとした花壇に、モザイカルチャーなどの躍動感のある植栽や演出方法を取り入れながら４つの景をつなぐ。
展示期間	２０２０年3月１９日（木）～5月２４日（日）６７日間 ※メイン会場集中展開期間

（6）ひろしまお祭りガーデン

項目	内容
概要	広島県及び県内23市町の個性的な「お祭り」をテーマに、ひろしまの風土のもと育まれた個性豊かな市町の文化を楽しむ花壇
展示構成	○全体面積：４００㎡ ○共通花壇：約３００㎡程度 ○個別花壇：約5㎡×２４自治体
展開イメージ	広島県及び県内23市町の代表的な「お祭り」をテーマとした24の個別花壇を含む一体花壇とする。 個別花壇の中には、広島県及び県内23市町のひろしまふるさと自慢を設置する。 ※ひろしまふるさと自慢は、ひろしまお祭りガーデン展示期間終了後、「はなのわ」内に移設
共通花壇のデザイン方法	実行委員会が設計
個別花壇のデザイン方法	広島県及び県内23市町が設計
展示期間	２０２０年3月１９日（木）～5月２４日（日）６７日間 ※メイン会場集中展開期間

（7）未来に向けた思い出年表

項目	内容
概要	被爆・終戦100年に向けて、戦災からの復興の歴史などを振り返り、未来への希望を来場者参加のメッセージで発信
展示構成	○花壇部分 約１００m分の並木 ○年表部分 １９４５年から２０２０年まで →広島の歴史や花緑のトピックスなどを写真等で掲載 →参加者の参加により当時の思い出を綴ったカラー用紙を掲出 ２０２０年から２０４５年まで →来場者の参加により「自分の未来史」を綴ったカラー用紙を掲出 ○著名人によるメッセージ 広島に由来する著名人（スポーツ・芸能・文化などの分野）から「未来に向けたメッセージ」をもらい掲載
年表	○１９４５年から２０２０年まで 「広島県史年表」や地元新聞などの資料から抜粋を検討 ○２０２０年から２０４５年まで 来場者に用紙を渡し「自分の未来史」を記載してもらい順次設置
展示期間	２０２０年3月１９日（木）～5月２４日（日）６７日間 ※メイン会場集中展開期間

（8）水辺の花畑

項目	内容
概要	水辺を彩る花畑として、地域のこどもたちが作成した「たねダンゴ」を植栽し、ひろしまフェア全期間を通じて展示
展開イメージ	フェア開会前～期間中にわたり３回の作成・植え付けを実施。 （１回目）　2019年11月上旬植え付け　→見ごろ６月頃まで （２回目）　2020年５月中旬植え付け　→見ごろ１０月頃まで （３回目）　2020年7月植え付け　→見ごろ１２月頃まで
こどもたちの参加方法	「たねダンゴ」づくりと植え付け ・メイン会場の水の都ひろしまゾーンにある河岸緑地で「たねダンゴ」をこどもたちに作ってもらい水辺の花畑の花壇に植えてもらう。
展示期間	２０２０年3月１９日（木）～１１月２３日（月・祝）２５０日間

たねダンゴ作成状況①（やまぐちフェア）

たねダンゴ作成状況②（やまぐちフェア）

たねダンゴ植え付け状況（やまぐちフェア）

こども達が植え付けた花畑（はちおうじフェア）

5-3　出展計画

（1）基本的な考え方

・ひろしまフェアの主役である「県内の花や緑に関わる企業・団体等」が主体的に無理なく参加できるとともに、新たな緑化活動の実践者の獲得を目指し、ひろしまフェアの会場特性や開催期間設定を考慮した出展形態や出展方法を設定します。

・メイン会場計画の中核的な存在として位置付け、会場内のシンボルとして質の高い作品となるような出展方法を設定します。

・会場づくりの主役として、出展者自身が来場者をもてなすという意識を高め、出展者を通じたフェア PR 及び観客誘致を図ります。

（2）出展区分

ゾーン	名称（仮称）	規模	主体
はなのわ	はなのわガーデン （植え付け）	約６～８㎡×４回転 ※各回の植え付け区画は異なる	学校 団体 個人
	はなのわガーデン （デザイン）	２４作品×２回転	学校等
希望と思い出ゾーン	にっぽんピースガーデン	約10㎡×１５区画程度	県外自治体
森のガーデンゾーン	ひろしま未来ガーデン	２０～３０㎡ ×３０～４０区画	企業、団体 農業高校等
	ハンギングバスケット コンテナガーデン	各５０基程度	一般個人

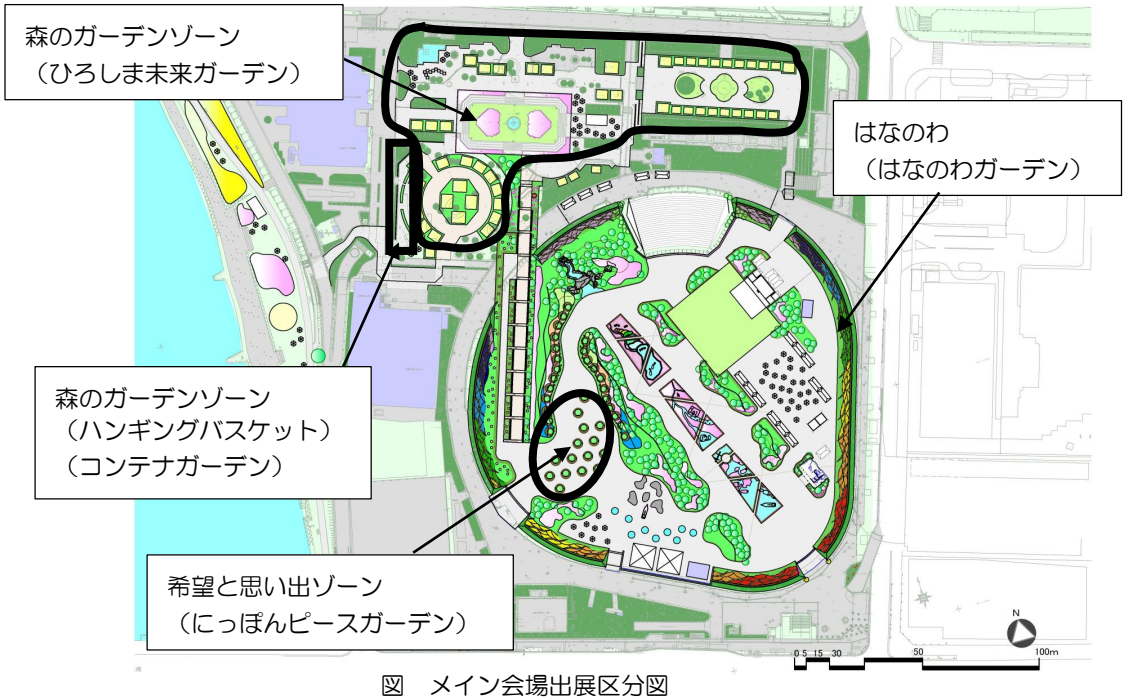


図　メイン会場出展区分図

（3）にっぽんピースガーデン

項目	内容
概要	「平和」をテーマに、日本全国の自治体がそれぞれの特徴をふまえて平和について考え、花や緑で表現する個別花壇 （モチーフ例）シンボル、災害復興、スポーツ、こども、イベントなど
規模×区画数	約１０㎡×１５区画程度
出展方法	県外自治体からのデザインにより実行委員会が花壇を作成（負担金方式） 県外自治体がデザインし花壇を作成（自主施工方式）
出展者	都道府県、政令指定都市、中核市 先催フェア開催自治体、フェア開催予定自治体　など
出展期間	２０２０年3月１９日（木）～5月２４日（日）６７日間 ※メイン会場集中展開期間

写真　にっぽんピースガーデンイメージ（あいちフェア）

（4）ひろしま未来ガーデン

項目	内容
概要	企業・団体、学校等が、「ひろしまの未来のライフスタイル」をテーマに、各シーンを独自のアイデアや技術で自由に提案する庭園や花壇 ※全国都市緑化フェアコンテスト対象
シーン	庭園・花壇／ベランダ・バルコニー／沿道をイメージした修景
出展方法	出展者自身が作品のデザイン、材料調達、施工、維持管理、撤去を実施
出展者	県内外の造園や園芸関係を業とする企業・団体等 県内の農業高校　など
出展期間	２０２０年3月１９日（木）～5月２４日（日）６７日間 ※メイン会場集中展開期間

写真　ひろしま未来ガーデンイメージ

（5）はなのわガーデン

項目	内容
概要	メイン会場の中心的な展示物として、県民参加の植え付け、デザインによる大型花壇
規模×区画数	約６～８㎡×４回転　　※各回の植え付け区画は異なる。
出展方法	（植え付け） 実行委員会が定めるデザインに基づき、参加者（個人、団体、学校等）が花を植え付ける。 〇植え付け時期 （１回目）２０２０年３月上旬 （２回目）２０２０年４月下旬 （３回目）２０２０年６月下旬 （４回目）２０２０年９月 （デザイン） 県内の小中学校に声をかけ、はなのわガーデンへのデザイン参加を検討する。
出展者	（植え付け） 県民（個人、団体等）、会場近隣の小中学校　など （デザイン） 県内の小中学校　など
出展期間	２０２０年３月１９日（木）～１１月２３日（月・祝）２５０日間

写真　団体・園児による花の植え付け（イメージ）

（6）ハンギングバスケット、コンテナガーデン

項目	内容
概要	個人によるハンギングバスケット、コンテナガーデンの作品出展
作品数	○ハンギングバスケット：５０作品程度 ○コンテナガーデン：５０作品程度
出展方法	出展者自身が作品のデザイン、材料調達、作品制作、会場内への搬入・撤去を実施　※ひろしまフェアのコンテスト対象 メイン会場集中展開期間のうち、５日間の展示期間とする。 （出展スケジュール） ○搬入日：５月１７日（日）及び１８日（月） ○審査日：５月１９日（火） ○出展期間：５月２０日（水）～５月２４日（日） ○撤去日：５月２４日（日）及び２５日（月）
出展者	県内及び近隣県の個人、農業高校　など ※日本ハンギングバスケット協会への協力を依頼
出展期間	２０２０年５月２０日（水）～５月２４日（日）　５日間

写真　ハンギングバスケット・コンテナガーデンイメージ

5-4　コンテスト計画

（1）基本的な考え方

・全国的な花と緑の祭典である全国都市緑化フェアの重要な事業として、出展作品に対する評価・顕彰を行うことで、作品の質及び都市緑化技術の向上を図るとともに、来場者が楽しみながら花と緑に関する知識や工夫を学べる場とします。

・出展作品に対し、専門家による適正かつ厳粛な審査を行い、より優れた作品を的確に評価するとともに、出展者の今後の活動の励みとなるような評価手法を検討します。

・継続的な緑化活動を促進するために、ひろしまフェア開催時での一過性での取組ではなく、継続的な事業展開となることを目指します。

（2）コンテスト区分

区分	概要
庭園出展コンテスト	庭園出展を対象に、全国都市緑化フェアのコンテスト要項に沿った審査を実施 （審査日程）２０２０年3月１６日（月）または１７日（火） （授与する賞の案） 〇実行委員会表彰：金賞、銀賞、銅賞 〇関連表彰：国土交通大臣賞、広島県知事賞、その他主催者の賞、 （公財）都市緑化機構会長賞 その他造園や園芸関係団体からの賞
ハンギングバスケット、コンテナガーデンコンテスト	ハンギングバスケット、コンテナガーデンの作品を対象に、ひろしまフェアが定めるコンテストルールにそった審査を実施 （審査日程）２０２０年5月１９日（火） （授与する賞の案） 〇実行委員会表彰：金賞、銀賞、銅賞 〇関連表彰：広島県知事賞、その他主催者の賞、 （公財）都市緑化機構会長賞 その他関連団体からの賞

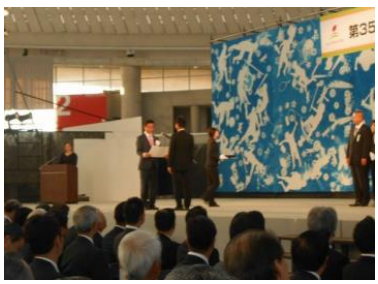


写真　コンテスト実施状況（やまぐちフェア）

６　行催事計画

6-1　基本的な考え方

（1）基本的な考え方

行催事の展開

●開会式、閉会式及び全国都市緑化祭などの公式行事を実施するとともに、実行委員会が行う「主催者イベント」の実施と、企業・団体等が行う「連携イベント」の誘致を行います。

●花や緑のあるライフスタイルの豊かさを実感するため、誰でも楽しく参加できる数多くの体験型ワークショップ等を開催します。

●花と緑による地域づくりや、緑化技術の向上、花や緑に触れ合うきっかけとなるような普及啓発型催事やシンポジウム等を実施します。

ひろしまフェアの認知向上と来場促進

●開催 100 日前などの節目にプレイベントを実施するとともに、メディアとタイアップした催事を行います。

●「広島初」といったような、ひろしまフェアを広く認知してもらい、数多くの県民や来訪者に来場してもらうための「集客イベント」を企画するとともに、実施主体や地域と来場者の関係を築くための「交流イベント」を開催するなど、多彩な行催事を展開することで、何度もひろしまフェアに訪れるきっかけと楽しみを提供します。

●こどもが楽しめるよう、広島の海、森、川にちなんだ遊びを提供できるプログラムを展開します。（こどもの海、こどもの森、こどもの川）

地域づくりの担い手の育成と平和のメッセージの発信

●被爆の生き証人である被爆樹木や、戦災からの緑の復興の歴史を伝える供木等を巡るガイドウォーク等のプログラムを実施し、被爆や戦災からの復興の記憶を世界に発信し、その伝承を図ります。

●花や緑をつなぎ手として広島全体の一体感を高める象徴的な行催事を県民参加で行います。（スポットイベントの PR を生花でリレーする「ひろしま生花リレー」等）

メイン・協賛・スポットイベント会場の連携

●メイン会場、協賛会場及びスポットイベント会場を回遊するきっかけとなる仕組みを構築します。（スタンプラリー手法の検討など）

●多彩な集客イベントや連携イベントを開催するとともに、広島県、県内 23 市町及び各種団体等による交流イベントを開催し、数多くの人に県内 23 市町や花と緑等への興味・関心を高めてもらい、交流を促します。

写真　100 万人達成セレモニー（やまぐちフェア）

写真　ワークショップ体験（やまぐちフェア）

写真　花の苗プレゼント（とっとりフェア）

写真　閉会式（とっとりフェア）

（2）行催事区分・展開概要（メイン会場）

区分	行催事	主な内容
公式行事	内覧会	・開会の直前に各関係者、マスメディア等を招いての内見
	オープニングセレモニー	・メイン会場入口周辺を使用してのテープカット等のセレモニー
	開会式	・メイン会場周辺の屋内施設を使用しての開会宣言等の開会式典
	節目セレモニー	・来場 50 万人等を告知する記念セレモニー（期間中３回程度）
	閉会式	・フェア会場周辺施設を使用しての引継ぎ式等の閉会式典
	全国都市緑化祭	・ひろしまフェア期間中の１日、全国都市緑化祭を開催
主催者催事 (プレイベント)	１年前イベント	・集客スペースを利用してのフェア開催の告知催事（2019 年３月 21 日開催）
	100 日前イベント	・カウントダウンボードの除幕など開催直前を告げる PR 催事
主催者催事 (シンポジウム)	都市緑化シンポジウム	・広島の都市緑化や花と緑のまちづくり、環境をテーマとするシンポジウムをリレー方式にて開催
集客イベント	ステージ催事	・著名人を招いた「花・緑」関連等のステージ ・地元ミュージシャンによる音楽ステージ ・伝統芸能、地域芸能のステージ ・地域住民や地域の文化団体等によるステージ ・ストリートパフォーマー等によるパフォーマンスステージ など
	メディアタイアップ催事	・物産展、音楽、芸術文化などマスメディアとの連携により実施する催事
交流イベント	市町の日	・広島県及び 23 市町が日替わりでスポットイベントや観光資源等の魅力を PR する「市町の日」を週末等に実施
	はなのわガイドツアー	・メイン会場を中心とする花や緑等のガイドツアー
	花と緑のワークショップ・展示会	・フラワーアレンジメント・生け花などの体験、庭づくり・寄せ植え・ハンギングバスケット等の住まいの緑化体験 ・こども達を対象とした自然工作、押し花づくり等の体験 ・草木染、ドライフラワー、押し花、ハーバリウム等のクラフト体験 ・フラワーヒーリング（園芸福祉）体験 ・花緑愛好家等による展示会の開催　など
	フィールド催事	・ニュースポーツやアスレチックなど花や緑に囲まれた中で、のびのびとした自然との触れ合い体験 ・ひろしまの海、森、川をテーマとした遊び体験イベント（こどもの海・こどもの森・こどもの川）　など
	復興催事	・被爆からの復興を世界に発信する「被爆樹木や供木ガイドツアー」 ・西日本豪雨による災害復興を念頭に緑が果たす役割の紹介や防災グッズワークショップ　など
連携イベント		・メイン会場集中開催期間終了後（５月 25 日～11 月 23 日）等において、民間イベントとの連携で協賛会場やスポットイベント会場の案内や観光・市町情報を提供 ・その他、ひろしまフェアの会場やその周辺において開催されるイベント等についても、連携イベントとして勧奨・誘致

6-2　公式行事

① 内覧会

開会直前の時期に、メイン会場に各関係者及びマスメディア等を招待し、広報・来場促進を図ります。

●開催日　2020 年3月 17 日（火）
●会　場　メイン会場
●参加者　地元住民、マスメディア、関係者

写真　内覧会（やまぐちフェア）

②オープニングセレモニー

3月 19 日（木）の開会当日、各関係者と待ちかねる一般来場者と共に開会を祝うセレモニー（テープカット等）を実施します。

●開催日　2020 年3月 19 日（木）開場前
●会　場　メイン会場メインゲート周辺
●参加者　主催者、来賓、関係者、一般来場者

写真　オープニングセレモニー
（よこはまフェア）

③開会式

3月 19 日（木）のオープニングセレモニー後、隣接の広島県立総合体育館を会場に実施します。

●開催日　2020 年3月 19 日（木）
●会　場　広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）
●参加者　主催者、来賓、関係者

写真　開会式（はちおうじフェア）

④節目セレモニー

開催期間中の節目（来場 50 万人達成等）にマスメディアを招聘してのセレモニーを行い、来場への感謝と中間期におけるさらなる誘客促進を図ります。

●開催日　メイン会場　開催期間中
●会　場　メイン会場メインゲート周辺
●参加者　実行委員会、50 万人達成者等、一般来場者

写真　来場者 10 万人記念セレモニー
（とっとりフェア）

⑤閉会式

フェア最終日の 11 月 23 日（月・祝）、フェアの閉会を宣言し、無事な終了と来場者への感謝、フェアに関わった多数のスタッフ、関係者へのねぎらいの意をこめた式典を実施します。

●開催日　2020 年 11 月 23 日（月・祝）
●会　場　フェア会場周辺施設
●参加者　主催者、来賓、関係者

写真　閉会式（はちおうじフェア）

⑥全国都市緑化祭

都市緑化に対する国民の理解と協力を得ることにより、都市緑化の推進を図り、もって潤いのあるまちづくりに寄与することを目的に全国都市緑化祭を開催します。

●開催日　フェア開催期間中の１日

全国都市緑化祭（とっとりフェア）

6-3　主催者催事（プレイベント）

①　１年前イベント

ひろしまフェアのキックオフイベントとして周知と機運の醸成を図るため、１年前イベントを実施しました。ひろしまフェアの PR ボードの除幕式や記念演奏、「高校生花いけライブ」等を行い、ひろしまフェアを PR しました。

●開催日　2019 年3月 21 日（木・祝）12:55～15:10
●会　場　紙屋町シャレオ中央広場
●参加者　実行委員会、県内高校生、一般観覧者
　　（一社）花いけジャパンプロジェクト

写真　１年前イベント PR ボード除幕式
（ひろしまフェア）

②100 日前イベント

2019 年 12 月上旬、フェア開会の 100 日前を目途にカウントダウンボードの除幕などを行う PR イベントを開催し、ひろしまフェアの開会直前の周知と機運の醸成を図ります。

●開催日　2019 年 12 月上旬
●会　場　広島市内集客スペース
●参加者　実行委員会、プログラム出演者、一般観覧者

写真　100 日前イベント
（信州フェア）

6-4　主催者催事（シンポジウム）

①　都市緑化シンポジウム

花や緑の専門家と地域の花緑関係者を交えたシンポジウムをリレー方式で開催。緑化意識の高揚や花・緑を活用した地域づくりの展開を図ります。

●開催日　フェア開催期間中
●会　場　メイン会場及び協賛会場
●参加者　花緑専門家、地域花緑関係者、一般観覧者

写真　未来のとっとりシンポジウム
（とっとりフェア）

6-5　集客イベント

①ステージ催事

メイン会場集中展開期間中（3 月 19 日～5 月 24 日）の土・日・祝日を中心にイベントステージ及びイベント芝生広場等を活用した集客イベントを実施します。多彩なプログラムを実施することにより、当日の集客に加え、期間中繰り返し来場いただくことを目指します。

●開催日　メイン会場集中展開期間中（3 月 19 日～5 月 24 日）の土・日・祝日を中心
●会　場　メイン会場内（イベントステージ、イベント芝生広場等）

【ステージ展開例】

・著名人を招いた「花・緑」関連等のステージ
・地元ミュージシャンによる音楽ステージ
・伝統芸能、地域芸能のステージ
・地域住民や地域の文化団体等によるステージ
・ストリートパフォーマー等によるパフォーマンスステージ　など

写真　伝統芸能（イメージ）

写真　ストリートパフォーマンス（イメージ）

写真　音楽ステージ（イメージ）

②メディアタイアップ催事

高い発信力により、集客効果が期待できるマスメディアとの連携による催事の実施を目指します。花緑に関する催事のみにとどまらず、物産展や音楽イベント、地域の芸術文化イベントなど、さまざまな集客プログラムでの実施を検討します。

●開催日　メイン会場集中展開期間中（3 月 19 日～5 月 24 日）の土・日・祝日を中心
●会　場　メイン会場内

写真　春のまるごとグルメフェスタ（中国新聞社）

6-6　交流イベント

①市町の日

広島県及び県内 23 市町が日替わりでスポットイベントや観光資源等の魅力を PR する「市町の日」を週末等に合わせて実施し、スポットイベント会場等の県内 23 市町への誘客や、県内一円の回遊促進を図ります。

●開催日　メイン会場集中展開期間中
（3 月 19 日～5 月 24 日）
●会　場　メイン会場内（ウエルカムゾーン等）

写真　「市町の日」イメージ
（やまぐちフェア）

②はなのわガイドツアー

来場者に 7 つのゾーン及び「はなのわ」で構成されているメイン会場の見どころをボランティアガイドによりご案内します。

●開催日　メイン会場集中展開期間中
（3 月 19 日～5 月 24 日）
●会　場　メイン会場内

写真　ガイドツアー
（よこはまフェア）

③花と緑のワークショップ・展示会

暮らしの中で具体的な緑化活動につながる体験教室を実施するとともに、普段から花緑に親しむ愛好家などと連携した展示会を開催し、花・緑に直接触れる機会が、都市緑化活動の実践へと広がる契機となることを目指します。

●開催日　メイン会場集中展開期間中
（3 月 19 日～5 月 24 日）
●会　場　メイン会場内

【ワークショップ展開例】
- フラワーアレンジメント・生け花などの体験、庭づくり・寄せ植え・ハンギングバスケット等の住まいの緑化体験
- こども達を対象とした自然工作、押し花づくり等の体験
- 草木染、ドライフラワー、押し花、ハーバリウム等のクラフト体験
- フラワーヒーリング（園芸福祉）体験
- 花緑愛好家等による展示会の開催　など

写真　ワークショップ
（よこはまフェア）

④フィールド催事

自然の中でのアクティビティを通じて、ひろしまを感じ、花と緑を感じられる体験催事を実施します。新たな友達をつくることを目指します。

●開催日　メイン会場集中展開期間中
（3 月 19 日～5 月 24 日）
●会　場　メイン会場内

写真　ツリーイング体験
（はちおうじフェア）

⑤復興催事

被爆 75 年となるひろしまフェア開催年に、力強く復興した緑の姿を通じて、平和の尊さを体感してもらうガイドツアーを実施します（被爆樹木ガイドツアー）。
また、西日本豪雨災害からの復興を応援するワークショップを実施します。

写真　緑の伝言プロジェクト
被爆樹木ガイドツアー

●開催日　メイン会場集中展開期間中
（3 月 19 日～5 月 24 日）
●会　場　メイン会場内及び平和記念公園周辺

6-7　連携イベント

例年、旧広島市民球場跡地を会場に開催されている民間イベントや過去に開催実績のある民間イベントなどを中心に勧奨、誘致を図り、引き続きメイン会場が効果的な情報発信拠点として機能することを目指します。
その他、ひろしまフェアの会場やその周辺において開催されるイベント等についても、連携イベントとして勧奨・誘致を図ります。

●開催期間　ひろしまフェア開催期間中（３月１９日～１１月２３日）
●会　　場　メイン会場及びその周辺

表　旧広島市民球場跡地を会場に開催された民間企画イベント実施例（平成 30 年度）

催事名	期間	日数	来場者数
FISE WORLD SERIES Hiroshima 2018	4 月 5 日～4 月 8 日	4日	86,000 人
春のまるごとグルメフェスタ	4 月 21 日～4 月 22 日	2日	49,000 人
肉フェス with 世界のビールとグルメスタジアム 2018	4 月 27 日～5 月 6 日	10 日	215,500 人
ロハスフェスタ広島 2018	5 月 25 日～5 月 27 日	3日	36,000 人
ごみゼロ・クリーンウォーク	6 月 3 日	1日	6,400 人
ひろしま盆ダンス	8 月 11 日	1日	15,000 人
FOOD SONIC 2018 in HIROSHIMA	8 月 25 日～8 月 26 日	2日	24,400 人
第 52 回自衛消防競技大会	8 月 12 日	1日	1,200 人
MLB ロードショー×GDO ゴルフパーク	10 月 27 日～10 月 28 日	2日	37,000 人
ひろしまラーメンスタジアム	11 月 2 日～11 月 12 日	10 日	82,000 人
第 20 回商工会青年部全国大会 広島大会	11 月 21 日～11 月 22 日	2日	3,800 人
ひろしま民商フェスタ 2018	12 月 2 日	1日	35,000 人
消防局出初式	1 月 3 日	1日	9,000 人
島根ふるさとフェア 2019	1 月 19 日～1 月 20 日	2日	15,200 人
ひろしまフードスタジアム冬の陣	2 月 2 日～2 月 3 日	2日	60,000 人
2019 広島中古車フェア	2 月 23 日～3 月 3 日	9日	10,300 人
せとうち旅グセ。フェスタ 2019	3 月 23 日～3 月 24 日	2日	52,000 人

7　協働推進計画

7-1　基本的な考え方

・県民との協働によりフェア開催後にもつながる花と緑の取組を推進します。

・フェアへの参加を通じて、緑化や地域づくりの楽しさを感じることができる取組とします。

・フェアに参加する様々な主体のつながりを育み、地域資源の魅力の向上や地域づくりの担い手育成に取り組みます。

7-2　協働推進実施項目

（1）県民や団体との協働

①花の植え付けへの参加

・メイン会場、協賛会場、スポットイベント会場において、花緑愛好団体等の地域団体が花壇等の花の植え付けに参加し、ともに魅力的な会場づくりを進める。植え付け作業に際して、花苗の植え付け方法のポイントを伝える現地講習会等を実施してスキルアップを図ります。

②ボランティアへの参加

・植物管理ボランティアとして、メイン会場の花壇管理（花殻摘み等）に参加することで、ともに魅力的な会場づくりを進める。ボランティア参加者には、植物管理に関する講習会等を実施してスキルアップを図ります。
・会場サービスボランティアとして、メイン会場の案内サービスやガイド、体験運営補助等に参加することで、ともに来場者へのホスピタリティあふれるおもてなしを担います。
・協賛会場やスポットイベント会場において、各会場の取り組みに応じてボランティアとして参加し、公園や地域の魅力づくりに参加します。

③行催事への参加

・メイン会場、協賛会場、スポットイベント会場における、花や緑の体験催事や遊びの体験催事等の講師として参加します。

④県内緑化団体の連携の促進

・県内緑化団体の勉強会、交流会の開催等による活動の活性化や連携推進を検討する。勉強会や交流会を通じて、各会場での花の植え付けや管理、行催事等への協力を呼びかけ、継続的な取組へとつなげていきます。

（2）学校等との協働

①花の植え付けへの参加

・メイン会場、協賛会場、スポットイベント会場の花壇やプランターにおいて、学校等が花苗植え付けや「たねダンゴ」づくり植え付けに参加し、ともに魅力的な会場づくりを進めます。自分たちが植えた花で来場者が喜ぶ姿を体験します。

②花壇のデザイン参加（はなのわガーデン）

・メイン会場「はなのわガーデン」の花壇デザインに学校等が参加します。
自分達がデザインした花壇を見て来場者が喜ぶ姿を体験します。

③花の育成への参加

・学校等が花苗を育成し、メイン会場や協賛会場を装飾します。自分たちが育てた花で来場者が喜ぶ姿を体験するとともに、多くの来場者に向けて学校等の取組を PR します。

（3）企業との協働

・メイン会場において、「未来の広島のライフスタイル」をテーマに、庭園技術の技と美を結集した庭園等を出展します。

・ひろしまフェアの趣旨に賛同し、緑化に関する講習会や広島を盛り上げるイベントを、連携イベントとして実施します。

・協賛会場（県立せら県民公園）において、民間の観光農園との連携を検討します。

表　各会場での協働事業の内容

会場	協働事業内容
メイン会場	・会場づくりへの参加（花の育成、花の植え付け、花壇のデザイン等） ・行催事への参加（花や緑の体験催事等の講師、運営補助等） ・運営参加（植物管理、会場サービス等）
協賛会場	・会場づくりへの参加（花の植え付け） ・行催事への参加（花や緑の体験催事等の講師） ・運営参加（各会場の取組に応じたボランティア参加）
スポットイベント会場	・会場づくりへの参加（花の植え付け） ・行催事への参加（花や緑の体験催事等の講師、運営補助等） ・運営参加（各会場の取組に応じたボランティア参加）

7-3　スポットイベントのブラッシュアップ

（1）取組のルール

- 既存イベントの場合、「花や緑等をキーワードとした新たな工夫」を実施することにより、既存イベントの魅力向上を図り地域づくりにつながる取組とします。
- 新規イベントの場合、花や緑等をキーワードとして地域づくりにつながる取組を実施します。

（2）支援策

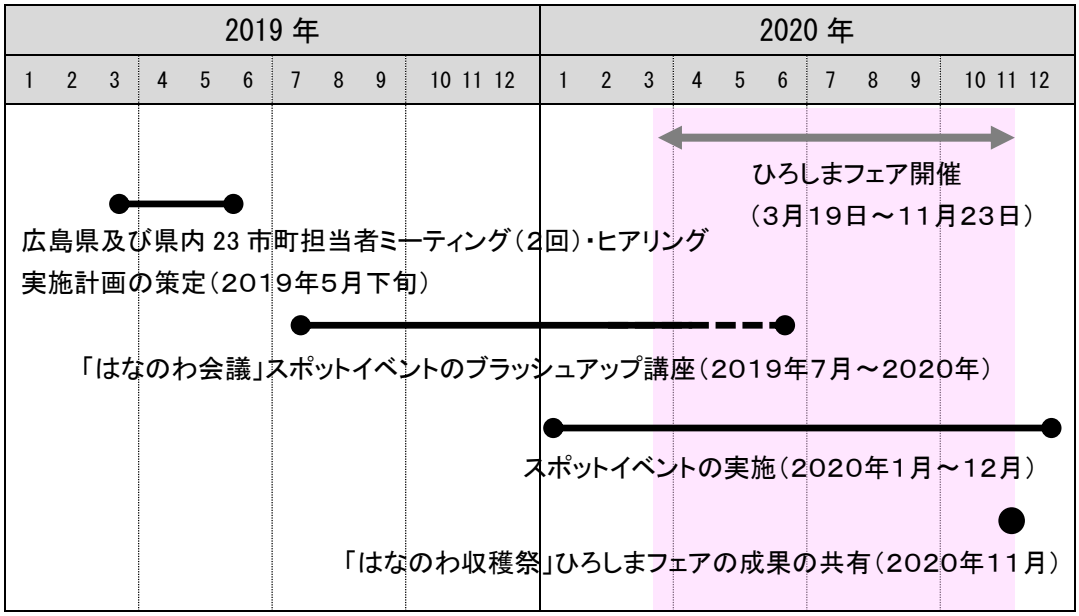
＜技術支援＞

- スポットイベントの「花や緑等をキーワードとした新たな工夫」の実現や全県的な連携推進に向けて、スポットイベント主催者への説明会や勉強会、様々な地域団体や人材との連携を支援する交流会等を開催します。
  →はなのわ会議　2019 年 7 月～2020 年を予定
- スポットイベントの取組成果を共有しフェア開催後につなげる交流会を開催します。
  →はなのわ収穫祭　2020 年 11 月を予定

＜財政支援＞

- スポットイベントの「花や緑等をキーワードとした新たな工夫」の実施に直接的に必要となる経費への補助を検討します。

表　スポットイベントのブラッシュアップに向けたスケジュール



８　会場運営計画

8-1 会場運営

（1）基本的事項

①基本的な考え方

● ひろしまフェア来場者の「安全」「安心」「快適」を実現する会場運営の実施

会場運営は、現状の公園や周辺施設の管理体制を基礎として、無料入場方式のフェアによる付加的なサービスや、安全・安心なフェアを確保するための管理体制を考慮して実施します。

●県民・市民が参加しやすいボランティア活動メニューの構築による、市民参加を促す会場運営の実施

フェアの県民・市民参加・ネットワークの拡大はもとより、次世代へ継承する担い手づくりの核となる人材の育成も考慮しながら、会場のサービスや管理にボランティアの積極的な参加を計画します。

●イベント等の情報の集約と発信の一元化を図り、県内全体での一体的な会場運営の実施

メイン会場となる中央公園及びその周辺を中心として、協賛会場からスポットイベント会場までのイベント情報等を一元管理し、各会場で発信可能とすることで、県内全体での一体的な会場運営の実現を図ります。

②会場運営の基本単位（メイン会場）

■開催期間：2020 年３月 19 日（木）～5 月 24 日（日）67 日間（集中展開期間）

※　残りのフェア期間となる５月 25 日（月）～11 月 23 日（月・祝）は、他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを開催します。

■開催時間：①10:00～17:00　３月 19 日（木）～ ３月 31 日（火）

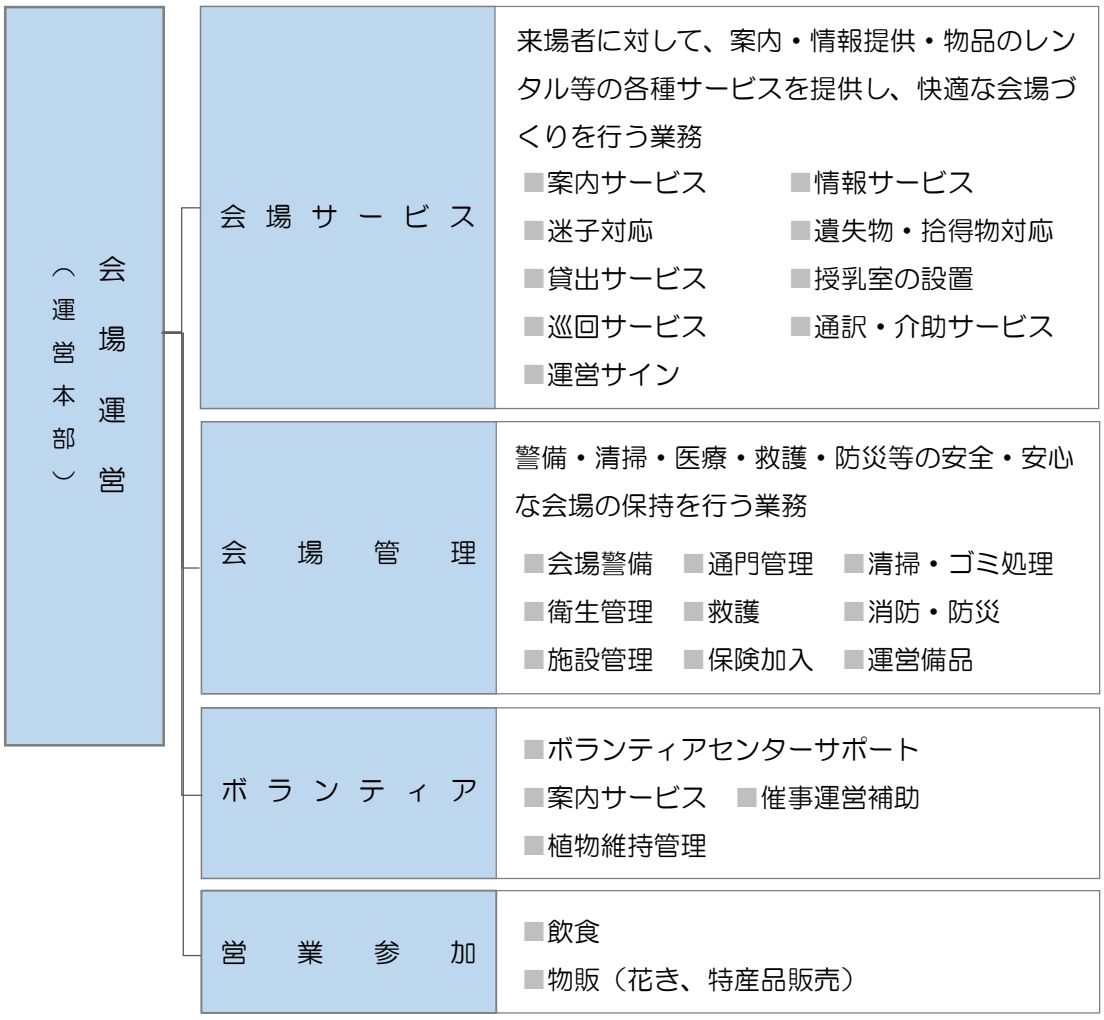
②10:00～18:30　４月　１日（水）～ ５月 24 日（日）

■入場方式：無料

※　開催期間中は、出展エリアを中心に夜間の一部閉鎖を検討します。

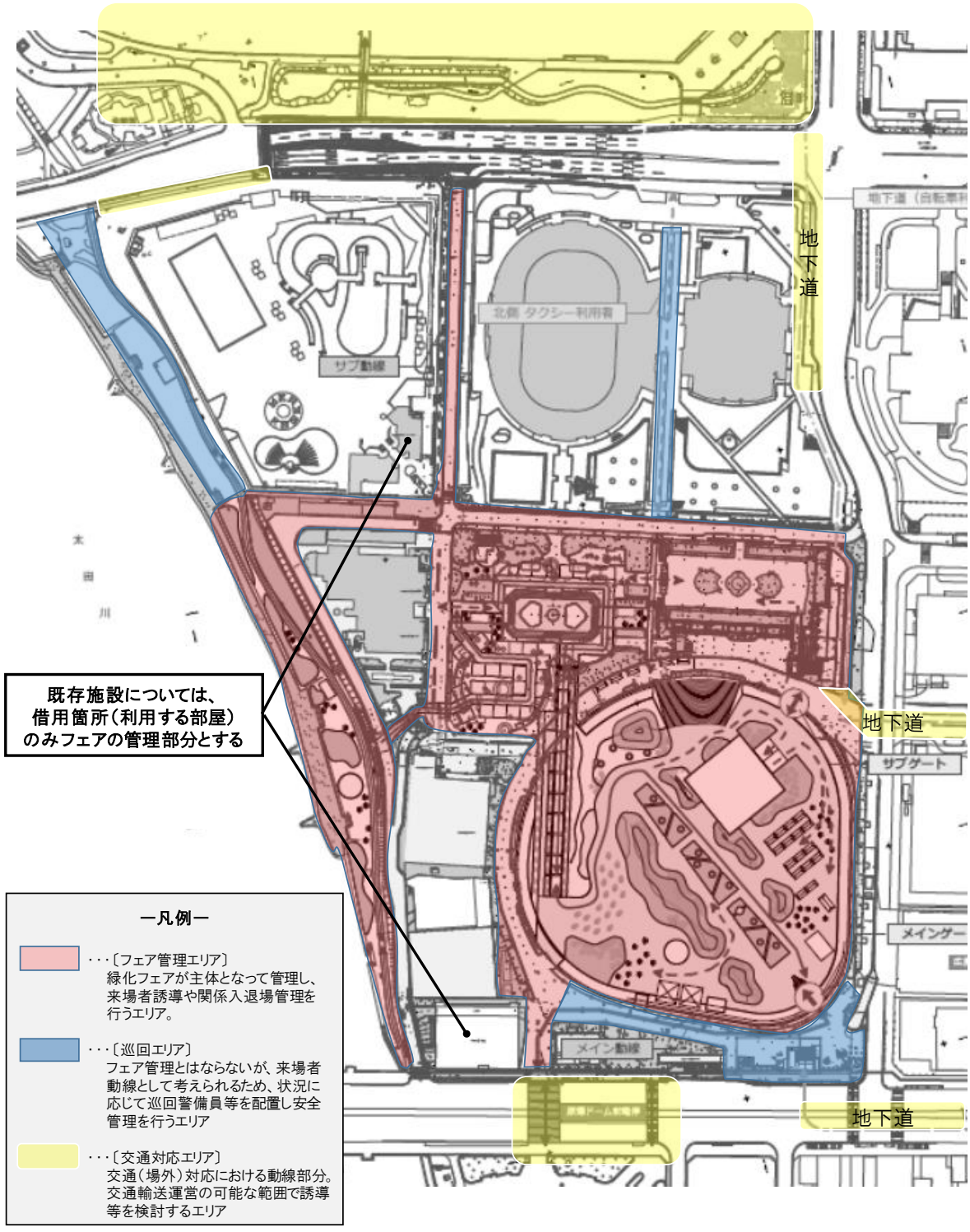
③メイン会場運営体制

来場者全てに心地よく有益なサービスが提供できる「会場サービス」、安全・安心な会場環境を提供する「会場管理」、市民と一体となった運営の核として展開する「ボランティア」の３つの軸を中心に、来場者に対する会場での提供サービスとなる「営業参加」も含めた、指示系統を確立し、一体感のある運営体制を構築します。

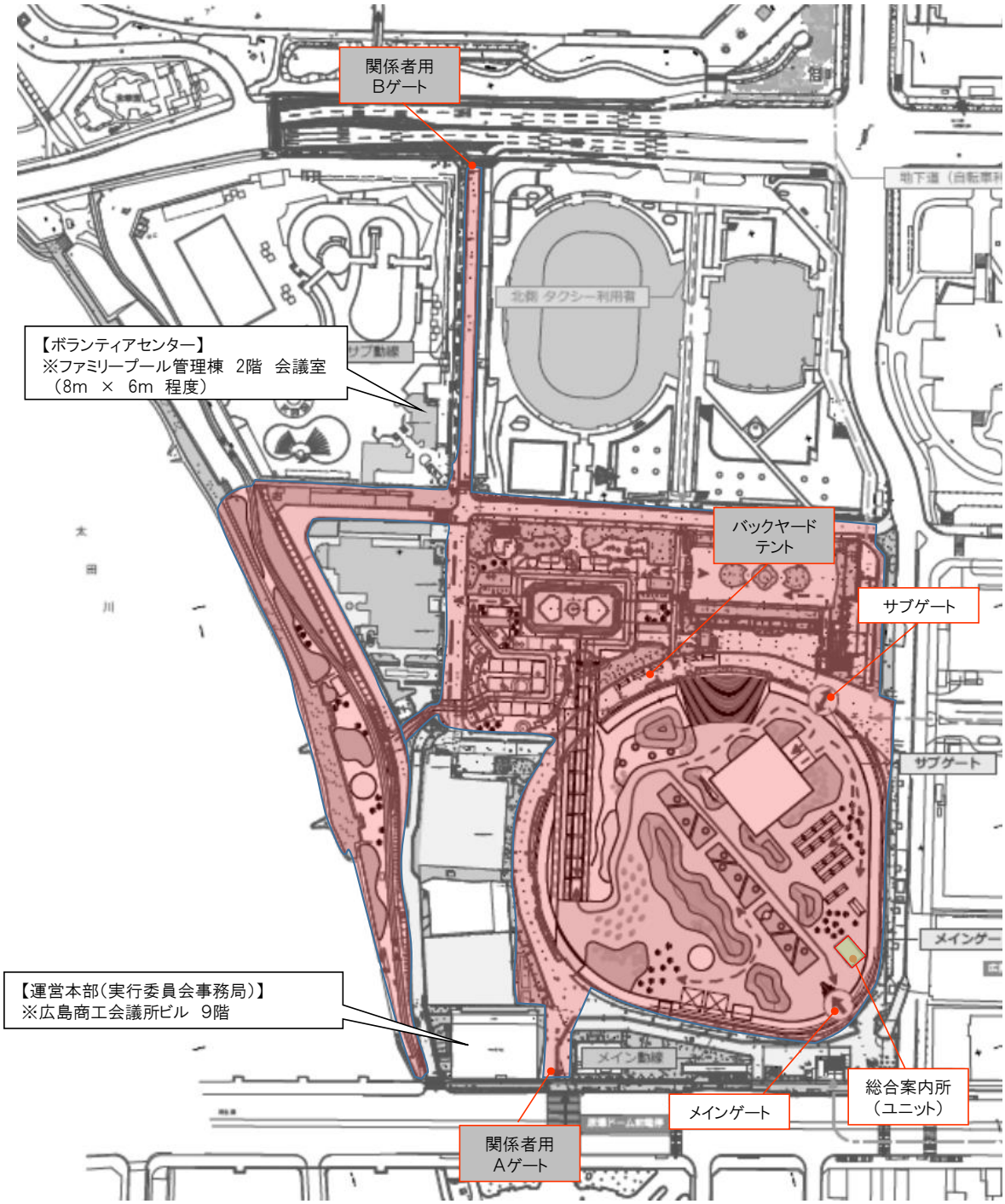

会場運営
（運営本部）
会場サービス
来場者に対して、案内・情報提供・物品のレンタル等の各種サービスを提供し、快適な会場づくりを行う業務
■案内サービス
■情報サービス
■迷子対応
■遺失物・拾得物対応
■貸出サービス
■授乳室の設置
■巡回サービス
■通訳・介助サービス
■運営サイン
会場管理
警備・清掃・医療・救護・防災等の安全・安心な会場の保持を行う業務
■会場警備
■通門管理
■清掃・ゴミ処理
■衛生管理
■救護
■消防・防災
■施設管理
■保険加入
■運営備品
ボランティア
■ボランティアセンターサポート
■案内サービス
■催事運営補助
■植物維持管理
営業参加
■飲食
■物販（花き、特産品販売）

④運営エリアの設定

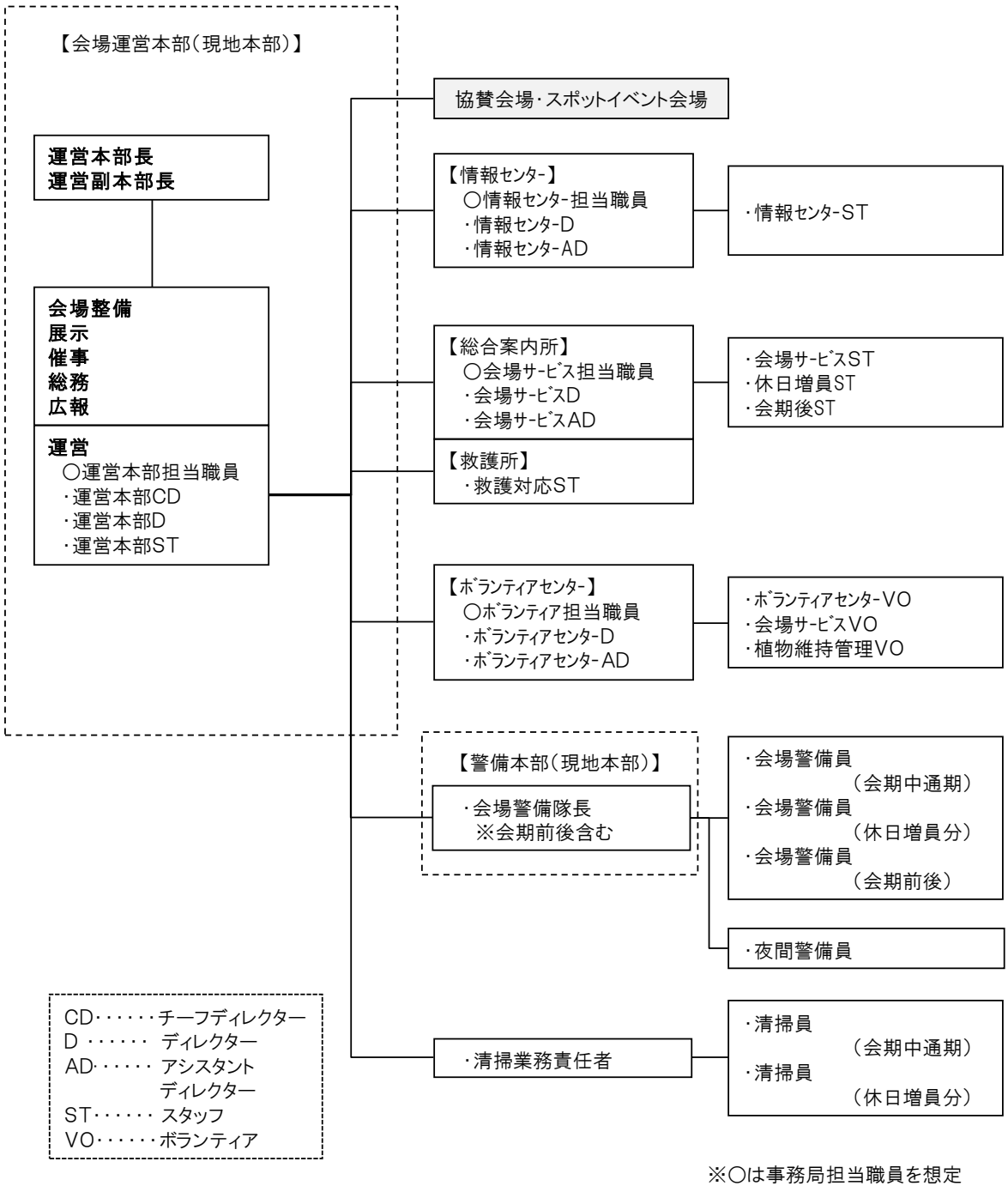
ひろしまフェアの会場運営に際し、運営エリアを以下のように設定・区分し、フェアとして主体的に管理するエリアを「フェア管理エリア」とします。



⑤メイン会場　運営施設設置図



⑥会場運営組織図（案）



※○は事務局担当職員を想定

（2）会場サービス計画

来場者に快適な「ひろしまフェア」を提供するために、様々なサービスを集約した総合案内所を設置し、会場内の「サービス窓口」として的確なサービスの提供と情報の収集発信及び来場者からの様々な問合せに対応します。

①会場サービス対応期間

時　期	対応時間 ※（　）内は該当期間	業務時間 ※準備、片付け含む
2020 年 3 月 19 日～11 月 23 日	①10：00～17：00 （3 月 19 日～3 月 31 日） ②10：00～18：30 （4 月 1 日～5 月 24 日） ③10：00～17：00 （5 月 25 日～11 月 23 日）	①9：30～17：30 ②9：30～19：00 ③9：30～17：30

※メイン会場の会期終了となる、③の 5 月 25 日以降は、他会場の案内や観光・市町情報の提供、連携イベントのインフォメーション機能のみを残して実施します。

※③の対応期間や対応時間については、メイン会場の撤去工事スケジュールや、連携イベント及びフェア以外の持込イベントの実施内容に合わせて今後調整を行います。

②会場サービス業務一覧

業　務	内　容
会場案内	・来場者からの問合せに対し的確に回答できるよう、ガイドマップ、各種催事プログラム、展示内容、営業出店内容などの様々な情報を集約し、各種問合せに対応します。 ・会期中のリアルタイム情報についても、迅速な情報収集と集約を行い、来場者に適確な情報提供を行います。 ・来場者に対してのお出迎え、ガイドマップの配布　等
県内観光情報や交通機関の情報提供	・県内観光パンフレット、公共交通機関の時刻表などの準備を行い、必要に応じた情報提供を行います。
障がい者・外国人対応	・筆談や翻訳機能付タブレットなどを活用し、障がい者や外国人来場者への対応を行います。
各種サービス対応	・迷子対応、遺失物・拾得物対応、貸出サービス、授乳室の設置
巡回サービス	・会場内を巡回しての案内等
その他対応	・来場者からの要望・クレーム等の対応

③情報センターについて

ひろしまフェアの運営における各種情報を一元化し、正確な情報を提供するなど来場者及び来場予定者へのサービスを向上し、会場運営を円滑に行うため、運営本部内に情報センターを設置します。

情報センターでは、電話による問合せ対応と場内放送対応を集約し、電話問合せについては会期前の準備段階から対応します。

【情報センター対応期間】

時　期	電話問合せ対応時間	業務時間 （準備、片付け含む）
2020 年 3 月 16 日～5 月 25 日	①9：30～17：30 （3 月 16 日～3 月 31 日） ②9：30～19：00 （4 月 1 日～5 月 25 日）	①9：00～18：00 ②9：00～19：30

※情報センターの設置開始時期はフェア開幕週の月曜日より電話問合せ対応を行うと想定し上記のように仮設定を行います。

（3）会場管理計画

メイン会場内のフェア管理エリアを適切に管理し、周辺の施設管理部署と情報を共有しながら、連携・協力による会場運営体制を構築することで、会場運営の基本となる安全で安心な会場づくりを行います。

①会場管理業務一覧

業　務	内　容
関係者 ゲート管理 （通門管理）	・会場内の安全管理のため、関係者車両用の管理ゲートを設定し、関係者には入場証、関係者車両には車両通行証を発行し、通門管理を行います。 ・業務用駐車場として関係者駐車場を設定し、駐車許可証を発行して適切な管理運用を行います。
警備	・会場内外の安全管理と秩序維持のため警備本部を設置し、警備員による雑踏・誘導警備、夜間警備などの自主警備対策を行うことで、事件・事故を未然に防止します。
清掃・ゴミ処理	・会場及びその周辺を衛生的で清潔な環境に維持するため、清掃、ごみ分別及びごみ処理を適切に行います。
衛生管理	・衛生管理に関する方法を定め、関係者への周知を図ることで会場内の衛生保全に努めます。
救護	・会場内で発生した傷病者救護のため、会場内に看護師が常駐する「救護所」を総合案内所内に設置し、傷病者への応急処置を迅速かつ的確に行います。
危機管理	・総合的な消防・防災管理を図り、フェア全体で取り組む消防・防災体制を構築するとともに関係者への遵守事項を定めます。 ・事件、事故、自然災害などに備えた危機管理体制として、運営本部内に危機管理本部を計画するとともに、関係者による防災訓練を実施します。 ・緊急事態発生時に警察・消防など関係機関と連携を図り、迅速かつ的確に対応します。
施設管理	・フェア関係施設の管理区分及び担当部署を定めて、会期中の確実な施設維持管理を行います。

②その他会場管理計画について

【運営備品計画】

施設等の既存備品の有効的な利用も考慮しながら、各施設ならびに会場全体で必要となる運営備品を計画し、手配・設置に備えるものとします。

【保険加入計画】

フェア開催期間中において、来場者・各種イベント参加者やボランティア・看護師などの関係者が、偶然の事故などによる生命又は身体に生じた損害の補償など及びフェア期間中に設営物を原因とする事故などにより生じた損害について、フェア実行委員会が保険に加入することで、円滑な運営を図っていきます。

※加入が想定される保険種別

「施設所有者賠償責任保険」「施設入場者傷害保険」「生産物賠償責任保険」
「行催事参加者傷害保険」「スタッフ傷害保険（看護師など）」「ボランティア活動保険」
など

③危機管理について

メイン会場もしくは会場周辺等において危機事象が発生し、又は発生の恐れがある場合は、来場者や関係者の生命、身体、財産等を守るために、その態様に応じて危機管理や災害等への対策を行う危機管理本部を設置し、対策を講じていきます。

【想定される危機事象】

⑴重大な災害		
	①自然災害	・地震、大雨、洪水、暴風、落雷による被害
	②道路等における大規模災害	・会場周辺道路等での大規模災害
	③大規模な火災・爆発事故	・会場内及び会場周辺における火災・爆発事故の発生
⑵重大な事件		
	①テロ事件	・爆破、脅迫電話等
	②重大犯罪	・殺人、誘拐等
⑶重大な事故		
	①雑踏事故	・会場内、駐車場等での雑踏事故
	②交通事故	・駐車場等での交通事故
⑷その他		
	①大規模停電	・機器トラブルや落雷などによる大規模停電
	②食中毒	・会場内での食中毒の発生
	③感染症	・感染症の発生
	④その他	・事務局長が危機事象であると認める事象の発生

【危機事象への対応方針】

危機事象発生時においては、次の措置を最優先するものとします。

①人命救助、負傷者救護
②参加者及び関係者の安全確保
③二次災害の防止

【危機事象発生時の運営本部の役割】

	役割
運営本部	①情報収集体制の確立（情報の収集、管理、伝達） ②警察、消防等関係機関への連絡 ③県・市本庁関係課、関係機関との連絡調整 ④危機管理本部の運営 ⑤負傷者等の救助救護 ⑥避難誘導 ⑦被害拡大の防止 ⑧公園管理部署・施設管理部署との連絡調整 ⑨広報 ⑩その他の応急措置

（4）ボランティア計画

ひろしまフェアでは、県民を中心とした会場ボランティアの活動の充実を図るため、会場運営（ボランティア部門）が募集から各部門との調整、ボランティア受け入れの準備等を統括的に行いボランティア活動の活性化、レベルアップを図ります。

ボランティアが自発的・意欲的に活動に参加できる機会や環境を整え、活動支援をする拠点として会場内にボランティアセンターを設置し、開幕直前の事務作業から、研修の実施、登録者の調整・管理を一元化します。

①ボランティア活動の区分と概要

区分	内　容	主な参加活動	管理区分
ボランティア	・会場のサポート等を担う県民など ・限られた期間で参加する会場ボランティア	●センター運営補助ボランティア	■会場運営（ボランティア部門）
		●会場サービスボランティア	■会場運営 ※一部催事
		●植物管理ボランティア	■会場整備

②ボランティア参加・参画形態

※共通の参加形態として、説明会・研修会を計画します。

参加内容		活動内容	活動人数/日	管理区分
●ボランティアセンター	センター運営補助	・センターの運営・事務業務等補助	2～3人程度	会場運営（ボランティア部門）
●会場サービスボランティア	案内サービス	・案内所業務補助 ・パンフレット配布 ・来場者のお出迎え ・迷子対応補助 ・介助サービス　など	8～10人程度	会場運営
	貸出しサービス	・貸出所受付対応		
	通訳 ※対応可の場合	・手話、外国語通訳		
	巡回サービス	・案内、巡回 ・環境美化		
	会場内催事の運営補助	・ステージ、体験運営補助　など	3～5人程度	催事
●植物管理等ボランティア	植物維持管理等	・花がら摘み ・除草　など	10人程度	会場整備（植物維持管理部門）

（5）営業参加計画

①基本的な考え方

●花・緑関連物品の提供、広島の名物・名産のＰＲ

来場者が関心を持った花・みどり関連の物品を提供するとともに、会場内で広島県名物・名産を提供する場を設け、フェアの魅力拡大とＰＲを図る計画とします。

●多様な出店者の出店機会の場を提供する「期間限定」型のサービス提供

休日等における多数の来場者に対応できるサービスを提供するため、期間限定型の営業参加者を募集し、サービス提供の増強を図る計画とします。

●ひろしまフェアの開催テーマを実現する営業参加形態

「はなのわオリジナルメニュー」の提供を出店の条件とするなど、花と緑を含め「五感で体感するひろしまフェア」の実現を図る営業参加の計画を行います。

②営業参加の枠組み

ひろしまフェアにおける営業参加を以下のとおり区分します。

種類	期間	場所	施設・営業参加概要（案）	
飲食	全期間または期間限定	広島グルメ等	キッチンカー ※場所提供のみ	フェア実行委員会事務局による公募方式
物販	全期間または週末限定	広島グルメ 花と緑のふれあい広場	テント施設	公募方式または実行委員会事務局手配による出店参加

※上記の営業参加とは別に、「イベント劇場 23」等で県内市町による販売等の出店があります。

③営業参加スケジュール

営業参加については、下記のスケジュールを元に出店の準備を進めるものとします。

（会場設計、申請手続きなど進行状況に応じて、その都度スケジュールを見直します。）

日程		内容
2019 年	6 月～8 月	●出店勧奨の課題調整　●出店条件の設定　●営業参加要項の作成
	9 月～11 月	●営業参加募集
	12 月上旬	●営業参加募集締め切り　●出店者決定
	12 月下旬	●「出店受理書」「手続書類」など各種案内の送付
2020 年	1 月～2 月	●「手続書類」のとりまとめ　●営業参加マニュアルの作成 ●出店者説明会参加の案内　●出店者説明会の開催
	3 月上旬	●出店者の搬入・設営・準備
	3 月 19 日～ 5 月 24 日	「第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア」　開催（メイン会場）
	5 月 25 日～	●出店者の撤去・搬出

8-2 交通輸送

（1）基本的事項

①基本的な考え方

多くの来場が予想されるひろしまフェアでは、来場者の安全・確実・快適な交通アクセスが求められます。

本フェアでは、来場者の交通手段の相当数を占めると予想される公共交通機関対策として、周辺の横断誘導を含めた様々な検討を行い、円滑な交通輸送計画を策定します。

また、メイン会場・協賛会場・スポットイベント会場間のアクセス方法を各会場で案内するなど、会場間を連携するとともに、公共交通の周遊パスの利用促進などによる回遊性向上に努めます。

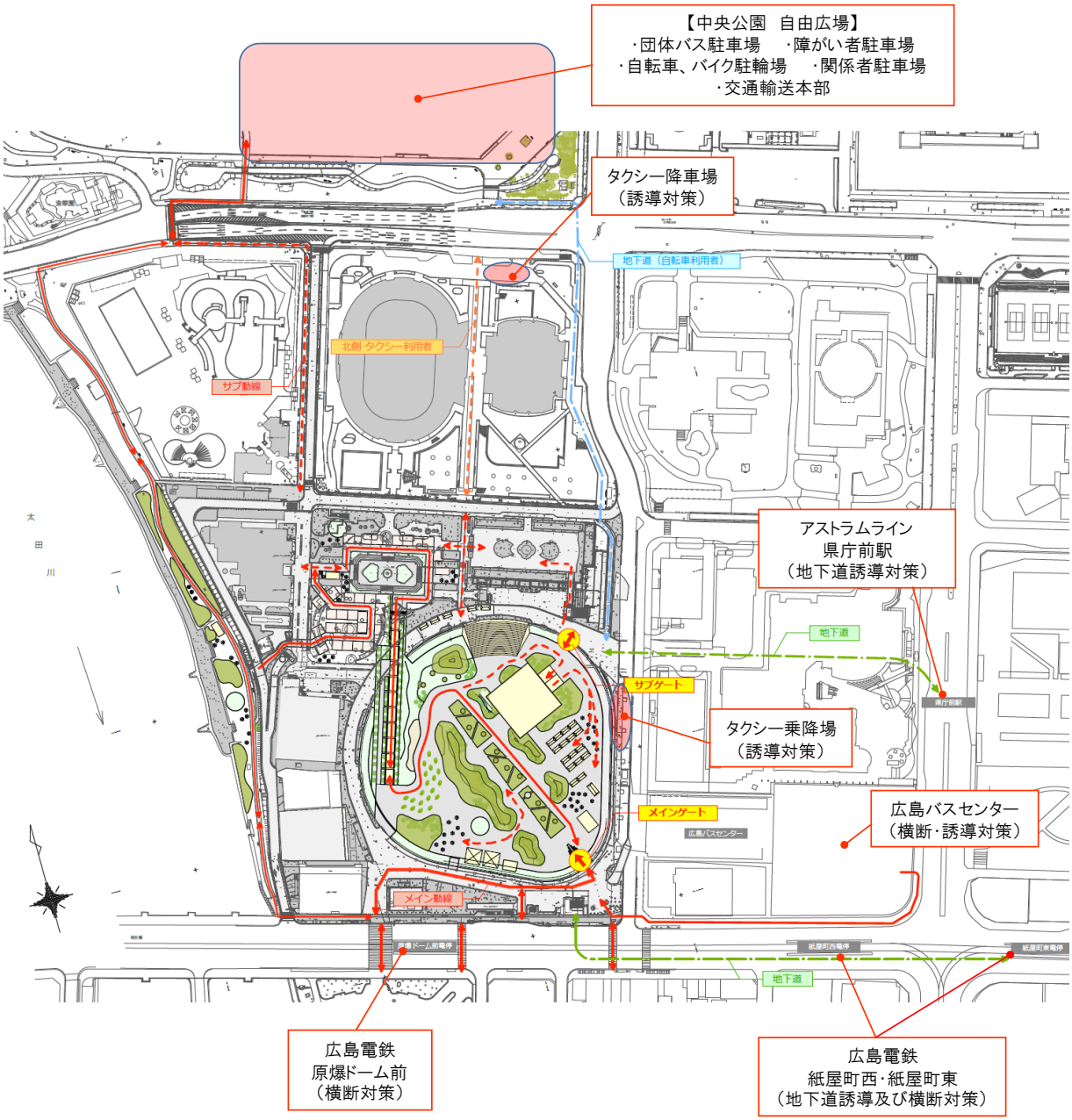
●来場者に安全で快適な交通アクセスを提供し、的確な輸送が可能となる手段を講じます。

②計画方針（メイン会場）

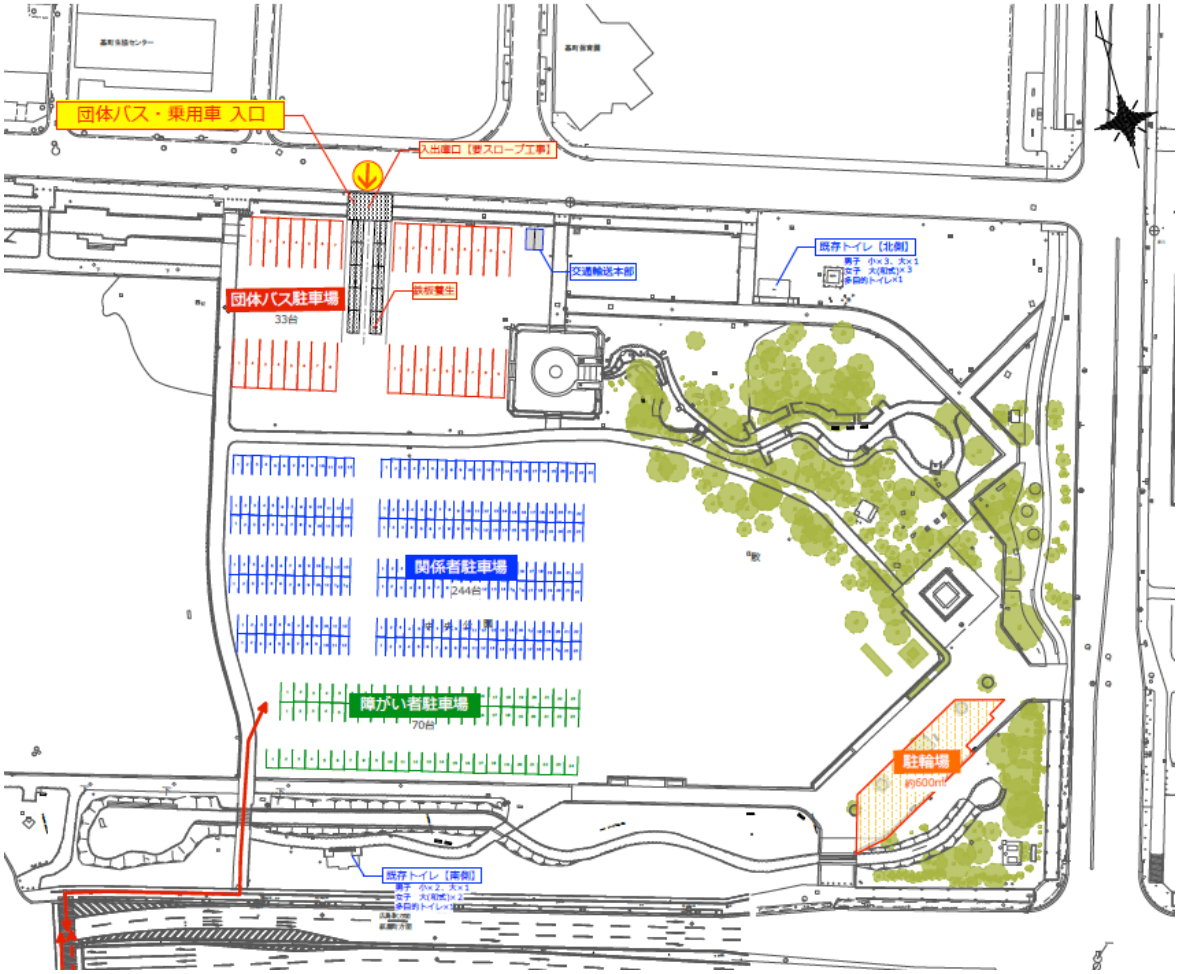
交通輸送計画における基本施策

●会場の交通上の制約要件を勘案しながら、来場者の交通手段を確保し、円滑な交通輸送や交通誘導を行います。
●周辺の電停やバス停、会場駐車場等からの徒歩来場に備えて、警備配置による横断歩道安全管理など、歩行者安全対策を重点的に行います。
●会場駐車場は障がい者や団体バスなどに限定するとともに、駐輪場やタクシー乗降場を設けます。
●会場に一般駐車場を設置しないため、徒歩や公共交通機関利用での来場を促進する告知の充実を図るものとします。

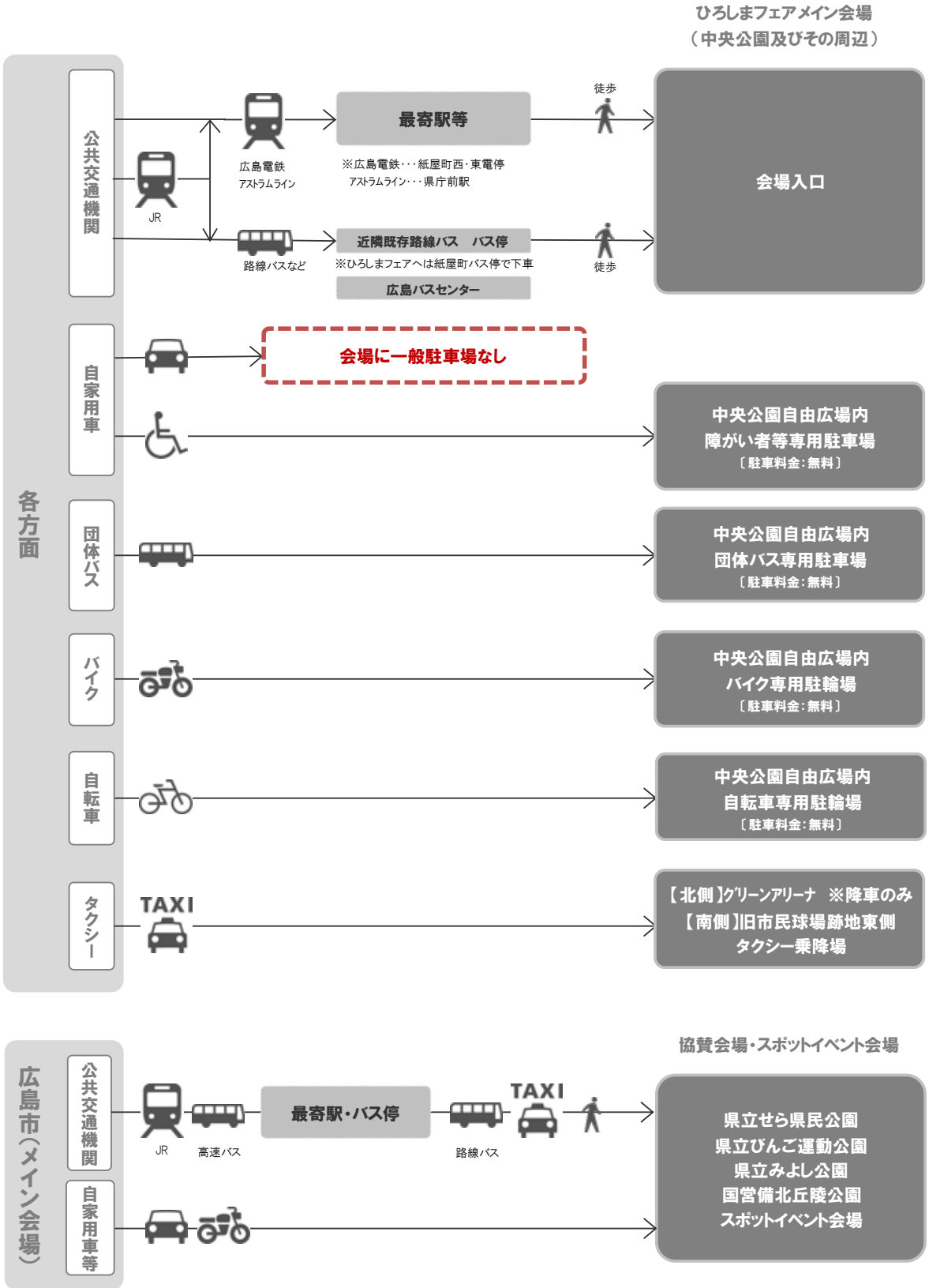
③メイン会場　交通輸送関係施設配置図



④中央公園自由広場検討図

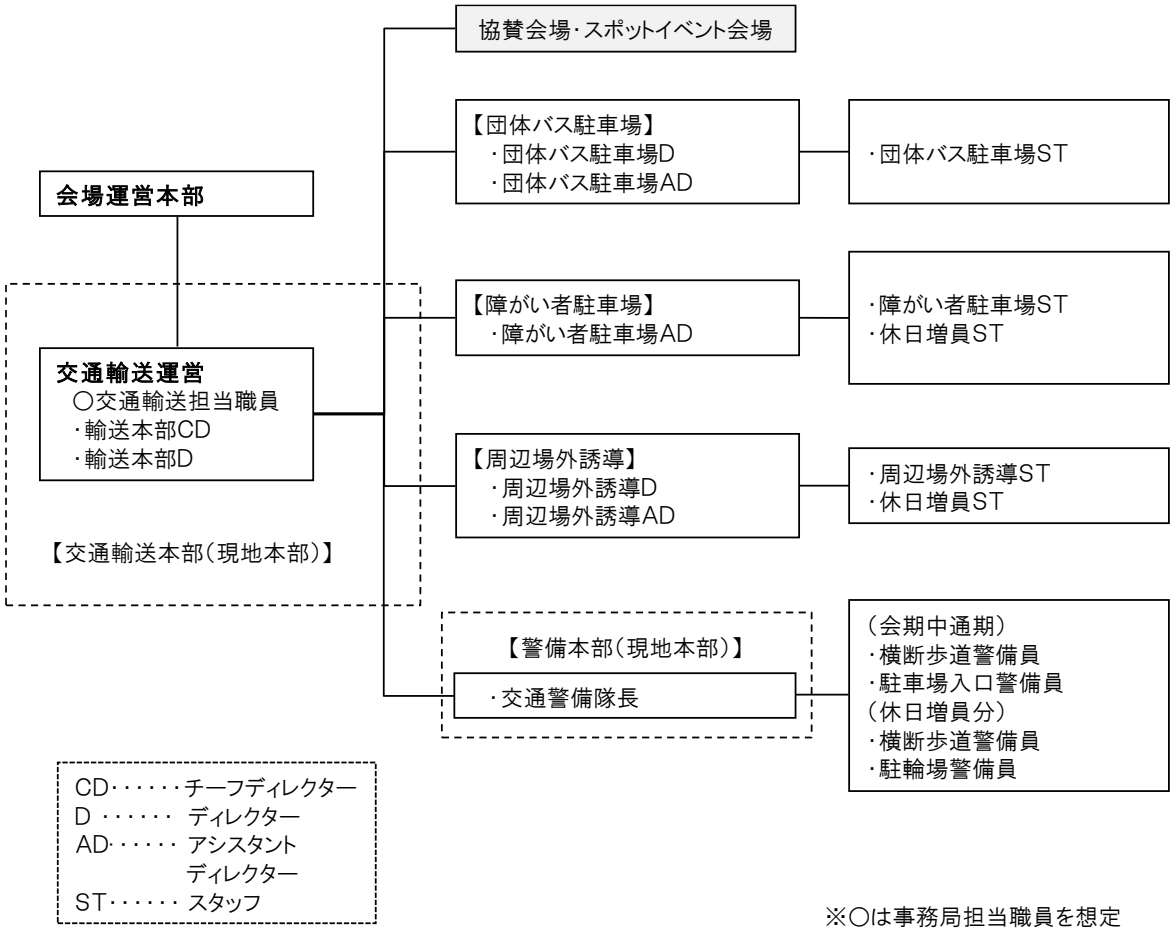


⑤交通アクセス相関図



※スポットイベント会場は会場数が多く、アクセスが多岐にわたるため、ここでは協賛会場を図示

⑥交通輸送運営組織図（案）

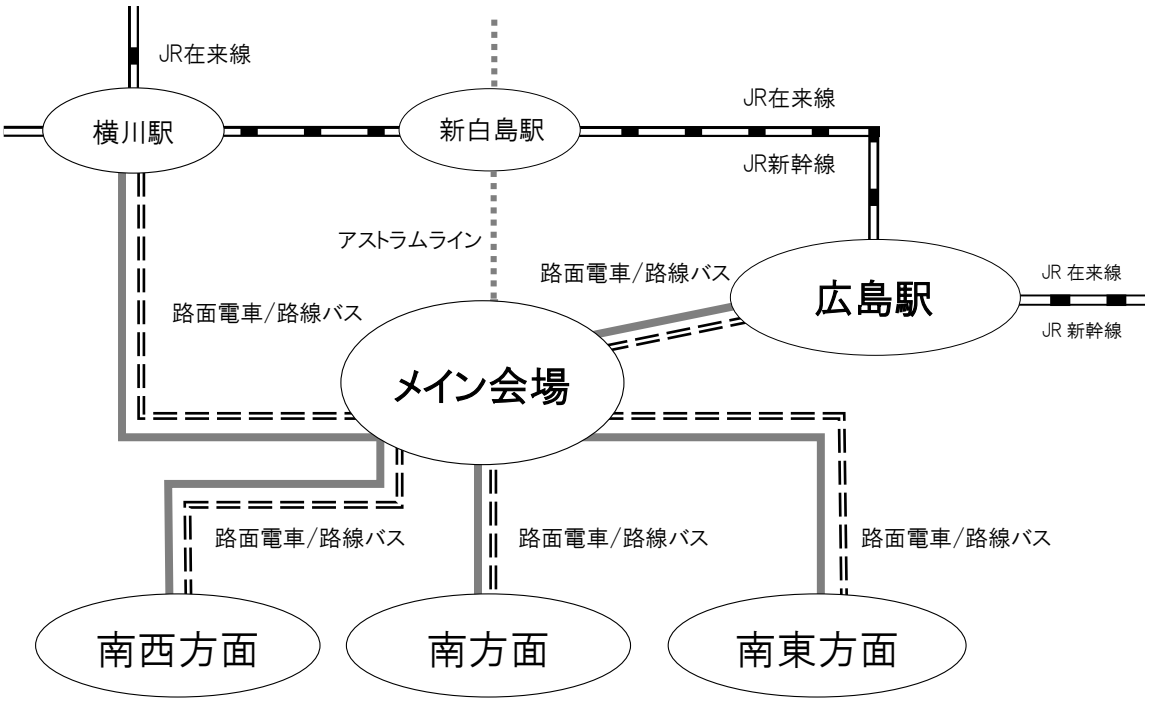


※○は事務局担当職員を想定

（2）公共交通機関利用計画

公共交通機関は、大量輸送を可能とするとともに、交通弱者対策や観客誘致面でも、最も重視すべき項目とし、最寄り駅等の設定（降車場所）を明確にして、誘導に備えるものとします。

①公共交通機関利用体系イメージ



②公共交通機関における最寄り駅等の設定

利用交通機関	案内
路面電車	・方面別に降車電停「紙屋町西」「紙屋町東」を設定 ※原爆ドーム前電停は混雑を想定し、積極的な案内は行わないものとします。
路線バス	・「紙屋町」「広島バスセンター」を設定
ｱｽﾄﾗﾑﾗｲﾝ	・「県庁前駅」を設定

③徒歩対策

上記に設定する会場周辺駅等からの徒歩来場者及び中央公園自由広場からの徒歩横断者、地下道利用者等の歩行者を対象として計画を行います。

会場周辺歩道での案内看板の充実などによる安全性や視認性を確保します。また、主要横断歩道など、車両との分離安全対策が必要な箇所については案内看板の設置もしくは警備員の配置をします。特に会場周辺については、車両動線と歩行者動線が重ならないように十分な安全対策を講じるものとします。

（3）駐車場計画

①団体バス駐車場計画

会場近くの「中央公園自由広場内」に団体バス駐車場を確保し、団体バス駐車場として無料、留置方式、団体多客時には、回送待機方式にて展開することで対処します。

駐車場利用にあたっては事前予約を原則としますが、当日の空き状況により受入れを行うなど、柔軟な運用を行うものとします。

②マイカー駐車場計画

ひろしまフェアメイン会場における駐車場計画は、会場に十分な駐車場敷地の確保が難しいため、環境に配慮したフェアの運営として、会場には障がい者等の専用駐車場のみ「中央公園自由広場内」に設け、一般の駐車場の設置は行わない計画とします。

ただし、乗降に伴う停車車両などにより周辺交通に影響を与えることも考えられるため、違反駐車防止や迷惑車両防止のサイン設置などの周辺対策を行うものとします。

③駐輪場計画

二輪車は過去の緑化フェアの交通輸送対策上、最も事故率が高く、さらに手押しの場合、道路交通法上“歩行者”となり抑制が困難になるため。十分な対策を要します。

本フェアでは、「自転車」と、原動機付自転車・自動二輪車を「バイク」として、以下の対策を講じるものとします。

●自転車専用駐輪場と、バイク専用駐輪場を「中央公園自由広場内」に設けます。
●徒歩二輪来場者の内、二輪来場者を 50%と想定し、最も来場者が見込まれる休日にも対応できるものとします。
●駐輪場ではスタッフによる案内・誘導を行い、駐輪場内整理と周辺歩道での手押し指導、不法駐輪の防止に努めます。

（4）交通輸送その他計画

①タクシー対策

タクシーの乗降場は県立体育館北側（降車専用）及び旧市民球場跡地東側を利用し案内します。また、案内板等での周知により、タクシー乗降場以外の会場周辺での乗降防止に努めるものとします。

〇基本的な降車場の案内

周辺の円滑な交通輸送を促すため、基本的には方面別にタクシー降車場を設定し利用する計画とします。

■東方面（広島駅方面）からのタクシー・・・県立体育館北側降車場
■西方面（横川方面）からのタクシー・・・・旧市民球場跡地東側乗降場

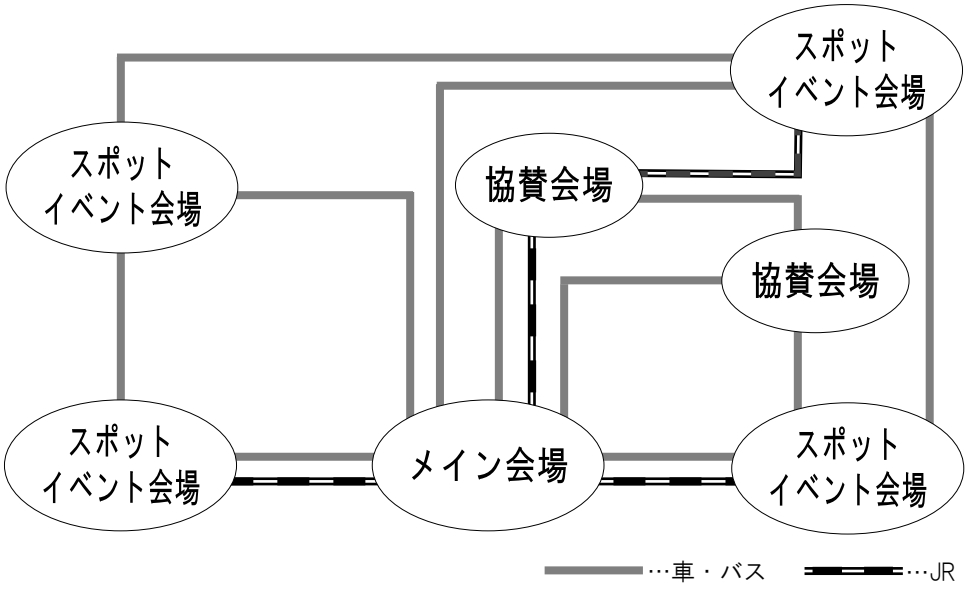
②公式行事等特別対策

「開・閉会式」「全国都市緑化祭」等における招待者等の輸送について、行催事担当者と調整を図ります。また、フラワーフェスティバル開催時の対応についても連携を図り、必要に応じて特別な対策を図るものとします。

③メイン会場・協賛会場・スポットイベント会場間の回遊

メイン会場・協賛会場・スポットイベント会場間のアクセス方法を各会場で案内するなど、会場間を連携するとともに、公共交通の周遊パスの利用促進などによる回遊性向上に努めます。

回遊イメージ



９　観客誘致・広報宣伝計画

9-1 観客誘致

（1）基本的な考え方

ひろしまフェアの広報宣伝活動や行催事と連携し、花や緑に関心の高い県民はもとより、幅広い県民と県外（インバウンド含む）からの観光客の来場促進を図ると同時に、県内全域で回遊と交流を生み出します。

（2）観客誘致の方策

①広報宣伝による誘致

- 県民を中心に効果的な広報宣伝活動を展開します（テレビ企画、新聞企画、広島県及び県内 23 市町の各広報誌や既存イベント、ローカル情報誌、交通利用拠点、公共交通機関のラッピング等）。
- ひろしまフェアのロゴマークや「はなのわ応援隊」等を活用した PR に取り組むとともに、実行委員会全体で連携した広報に取り組みます。
- 情報のプラットホームとして、公式ホームページを立ち上げ、新着情報やイベント情報を掲出します。
- ひろしまフェアの旬な情報を分かりやすく伝えるため、SNS 等によるリアルタイムな情報提供を行うとともに、マスコミへの積極的な情報提供を行います。
- SNS 等による情報拡散を図るため、魅力的なフォトスポットの設置や飲食メニューの提供等を検討します。
- インバウンドを含めた観光客への効果的な広報活動を行います（大型観光キャンペーンとの連携、ツーリストインフォメーションセンターやゲストハウス等の宿泊施設等への広報物設置・配布等による PR 活動及びホームページ等の多言語化等）。
- 話題性と集客効果を高めるために、フラワーアンバサダーを任命し、PR 活動を行います。

②行催事による誘致

- ひろしまフェアの開催を効果的に PR するため、開催 1 年前、開催 100 日前などの節目にプレイベントを実施し、メディア取材を通じて情報を発信します。
- 他都市の緑化フェアや県内の花緑のイベント等での積極的な PR 活動を実施します。
- 県民の参加気運の醸成を図るとともに、ひろしまフェア開催の PR も念頭におき、県民参加のワークショップ等の実施を検討します。
- メイン会場集中展開期間において、広島県及び県内 23 市町が日替わりでスポットイベントや観光資源等の魅力を PR する「市町の日」を週末等に合わせて設定し、スポットイベント会場等の市町の誘客や、県内一円の回遊促進を図ります。

写真　1 年前イベント記念演奏・高校生花いけライブ（ひろしまフェア）

③多様な主体との連携による誘致

- 広島県及び県内 23 市町と協力・連携し、観光誘客キャンペーン等でのひろしまフェアの PR、観光パンフレットやホームページへのひろしまフェアの情報掲載、各自治体が所有する施設へのひろしまフェアの看板やポスター、チラシ等を設置します。
- フェア会場となる各公園等と協力・連携し、既存利用者へ、ひろしまフェアのＰＲを行います。
- 商工会議所等の各種業界団体と連携して、ひろしまフェアの PR を行います。
- 地域の人材にスポットをあてた「花と緑の達人リレーシンポジウム」などの行催事を積極的に PR し、多くの人たちに共感を得られる広報に取り組みます。
- 地域の花緑とかかわりある活動をしている団体を中心に、ひろしまフェアでの活動を働きかけます。
- スポットイベントの PR をリレー展開することで、スポットイベントへの誘客促進を図るとともに、ひろしまフェア閉会後も残る連携及びつながりづくりに取り組みます（スポットイベントの PR を生花でリレーする「ひろしま生花リレー」の実施等）。
- スポットイベント会場等への旅行会社等によるツアー企画を働きかけ（助成措置等によるインセンティブを検討するとともに、ひろしまフェア閉会後も定着するツアーとなるよう働きかけ）、合わせてツアーバスの運行も検討します。
- スポットイベント会場等への回遊には食の魅力も重要であることから、花や緑を感じられるカフェを「はなのわカフェ」として認定してマップ制作や広報活動等、花と食の魅力による回遊促進に取り組みます。
- 春から秋の開催期間にわたり、メイン会場、協賛会場及びスポットイベント会場の回遊を促す仕組みづくりに取り組みます（強いインセンティブとなるスタンプラリー手法の検討、サイクリングによる回遊促進手法等の検討）。
- 県内の保育園、幼稚園、小中学校、高等学校等の課外学習の場としてひろしまフェアを利用していただくよう教育委員会等を通じて働きかけます。
- 公共交通機関等への協力依頼を行い、駅貼りポスターや車内ポスターなどを掲出することで広くひろしまフェアの開催を告知します。

9-2 広報宣伝

（1）基本的な考え方

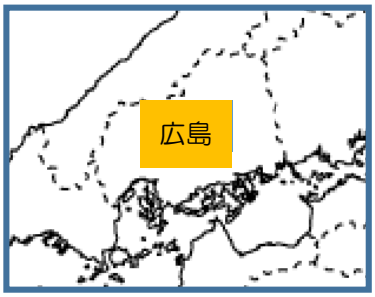
広告・パブリシティ・ＰＲイベントの手法を効果的に活用し情報の最大化を図るとともに、集客エリア・重点ターゲットをもとに広域への情報発信を実現する効率的な広報宣伝を行います。

（2）広報宣伝計画の方策

①集客エリアの設定

集客エリアは、広島県を訪れる発地別観光客数の状況や過去の全国都市緑化フェアの来場者状況から、開催地である広島県内を１次集客エリアに設定し、広島県に隣接する岡山県と山口県と島根県、瀬戸内を挟んだ愛媛県を２次集客エリアに設定します。

また、インバウンドへの PR 効果も期待される関西圏を３次集客エリアに設定し、各エリアで効率的な観客誘致を図ります。



＜１次集客エリア＞

＜２次集客エリア＞

＜ ３次集客エリア＞

②重点ターゲットの設定

花と緑と公園という要素から、日常的に利活用が見込まれる「ファミリー層」「女性層（20～40 歳台）」「シニア層（男女 50 歳以上）」を重点ターゲットとして設定します。

集客エリア	ターゲット	主な活用メディア
１次集客エリア	ファミリー層	テレビ、WEB 媒体、交通広告
	女性層（20～40 歳台）	テレビ、WEB 媒体、ローカル誌、フリーペーパー、交通広告
	シニア層（男女 50 歳以上）	テレビ、新聞、ラジオ、交通広告
２次集客エリア	ファミリー層	テレビ（岡山、山口、島根、愛媛）、WEB 媒体、交通広告
	女性層（20～40 歳台）	
	シニア層（男女 50 歳以上）	
３次集客エリア	観光客、インバウンド	WEB 媒体

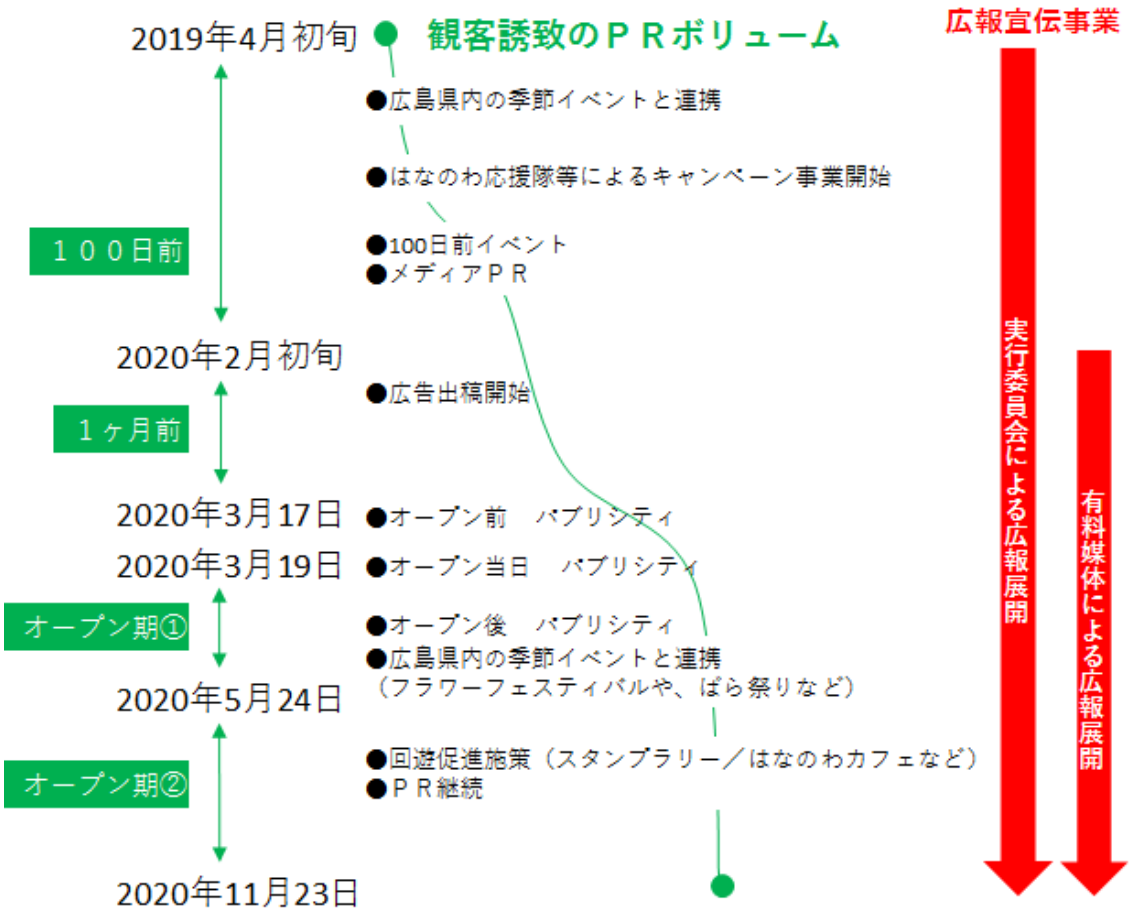
＊２次集客エリアのテレビは、岡山と香川、島根と鳥取は、両県で１波エリアです。

③広報宣伝事業の区分と展開概要

	事業区分	事業展開内容
実行委員会による広報展開	広報ツールの制作•配布事業	・ポスター、パンフレット、チラシ、会場案内チラシ、ノベルティーの制作 ・スポットイベント会場や地域資源など、季節ごとのガイドブックの制作 ・回遊促進スタンプラリーのツール制作 ・「はなのわ応援隊」等を効果的に活用した広報ツールの制作
	公的広報媒体活用事業	・広島県及び県内23市町と連携し、既存媒体（パブリシティ）の積極的な活用等を行う。
	屋外広告物等の制作•設置事業	・広告塔、横断幕、バナー等の制作 ・駅、空港や市電、バス等の社内吊り、タクシー広告、公共交通機関のラッピング等の交通広告を実施
	パブリシティ事業	・一般紙からミニコミ等にいたる幅広いメディアへの情報発信事業 ・パブリシティ露出の広告換算
	情報発信事業（PR動画等含む）	・ホームページ制作、SNSへの投稿など、WEB媒体の活用による情報発信
	企業・団体等との連携事業	・各種関係団体等（観光、商工、農業に関する団体）との連携によるPR活動 ・学校等との連携による課外学習や協働イベントの実施 ・商業施設や交通機関等との連携によるポスター掲出等のPR ・旅行会社等によるツアー企画の促進やシャトルバスの運行
	県民等の個人との協働事業	・フォトスポットの設置等による出展者や関係者、ボランティア等へのSNS活用を促進
	全県展開事業	・スポットイベントPRのリレー展開（ひろしま生花リレー等） ・各会場の回遊を促す仕組みづくり（スタンプラリーやサイクリングルートの検討、はなのわカフェの設定と活用等）
	公式記録事業	・ひろしまフェアの公式記録の作成
	キャンペーン事業	・県内23市町のイベント等を活用したＰＲ活動 ・大型観光キャンペーンとの連携 ・プレイベント、ワークショップの開催 ・「はなのわ応援隊」やフラワーアンバサダー等を効果的に活用したPR
有料媒体による広報展開	キャンペーン事業	・PRキャンペーン、プレイベント等を通じて県民への浸透を図ると共に、開催直前のメディアでの重点広報により、ひろしまフェアへの期待感と来場意欲を盛り上げる。
	マスメディア活用事業	・テレビ、新聞、ラジオ、ローカル情報誌、広告掲載等のマスメディアの活用

④広告宣伝のスケジュール計画

観客誘致と連動した広告宣伝スケジュールを設計します。



9-3 参加協賛

（1）基本的な考え方

ホームページ掲出等により広く協賛を募るとともに、ひろしまフェアの PR も兼ね、県内の企業・団体を対象に訪問説明を行うことにより実施します。

（2）参加協賛実施計画の方策

①ひろしまフェアにおける協賛形態

区分	内容
協賛金	事業全般にかかる費用の一部を協賛金として提供
物品、資材・施設等	実施に必要となる物品や資材・施設の提供、または無償貸与
催事・出展	イベント等における催事の実施・展示物等の出展
広報宣伝	印刷物等における広報及び広報物掲示場所の提供
役務	会場設営及び運営等、役務の提供

②協賛企業等への対応

協賛内容に応じた特典を提供します。

特典の内容	対応例
協賛社名の掲出	会場内に設置する看板等へ協賛者名を掲出
	協賛していただいた展示物については出展プレートへ協賛者名を掲出
	ホームページ、プログラム、ガイドブック、公式記録に協賛者名を掲出
ひろしまフェアの呼称及びロゴマークを使用する権利	私たちは第37回全国都市緑化ひろしまフェア（ひろしま はなのわ 2020）を応援しています。
ひろしまフェアの画像素材を使用する権利	ひろしまフェアの宣伝用の会場イメージパースや写真を提供
書面による謝意表明	感謝状の贈呈等
ひろしまフェアＰＲ特集への企業・団体名の掲出	新聞社のひろしまフェアＰＲ特集内に企業・団体名の掲出スペースを提供
開・閉会式への招待	式典への招待

③協賛企業等への報告

協賛企業に対しては「協賛社名」の広告露出をまとめ、報告いたします。